



あしたを
育てる。

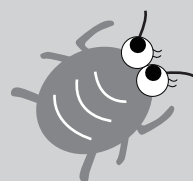
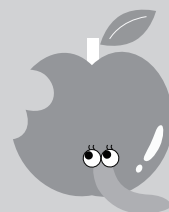
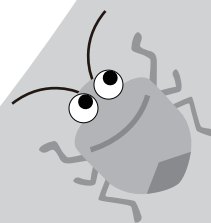
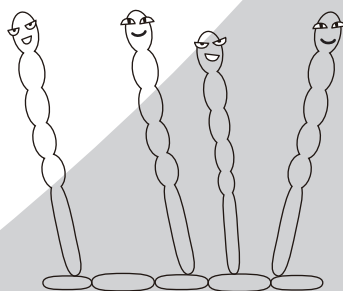
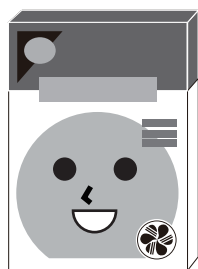
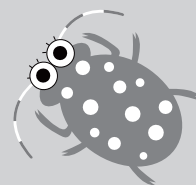
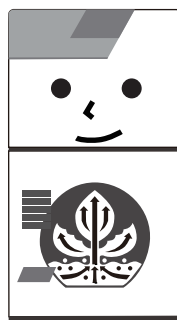
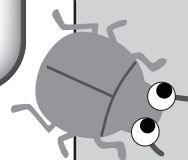
住友化学園芸



花・野菜・ハーブ・庭木・果樹
病気・害虫でお困りの方へ

家庭園芸薬品検索ガイド

農薬適用一覧表「作物別索引」
2016年版
(2015年12月1日現在)



ご自由にご覧ください

住友化学園芸 農薬適用一覧表「作物別索引」(2015年12月1日現在)

■本書の取り扱いについて

本書は住友化学園芸(株)で取り扱っている農薬を、2015年12月1日現在の農薬登録に基づき、作物別索引として取りまとめたものです。

農薬登録の内容は、不定期に追加、変更、削除されることがあります。また本書では使用時期、使用方法、使用回数、使用量などについては省略して記載している場合もありますので、薬剤の取り扱いについては必ずその薬剤の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。なお登録内容の変更以前に発売された商品の説明書には、本書の内容が反映されていない場合もありますので、ご了承ください。

■本書の見方

※使用時期 その薬剤を使用できる収穫前の日数を示します。「－」＝設定無し

※総使用回数 栽培期間中、又は庭木や果樹などでは一年間に使用できるその薬剤及びその薬剤の有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

例：「3回／他5回／散布3回／灌注2回」＝「本剤3回以内、他の同じ有効成分を含む農薬の総使用回数が5回以内(散布は3回以内、土壌灌注は2回以内)」。

有効成分の略称「エト」＝「エトフェンプロックス」、「クロ」＝「クロチアニジン」、「ペル」＝「ベルメトリン」、「アセフェ」＝「アセフェート」、「アセタ」＝「アセタミプリド」、「フェン」＝「フェンプロパトリン」、「ミク」＝「ミクロブタニル」、「チオ」＝「チオファネートメチル」、「メパニ」＝「メパニピリム」、「シフルフェ」＝「シフルフェナミド」、「トリフ」＝「トリフルミゾール」「他」＝「同成分の他の薬剤」

☆：作物名の左の欄に☆印がついているのは新規もしくは登録内容に変更があった薬剤です。

目次			
■グループ登録			
●花き類・観葉植物	5	●げきつ	26
●樹木類	6	●コスモス	26
●果樹類	7	●こでまり	26
●小粒核果類	7	●ごぼう	26
●野菜類	7	●ごま	26
●いも類	8	●こまつな	27
●うり類	8	●こんにゃく	27
●しそ科葉菜類	8	■サ	
●非結球あぶらな科葉菜類	8	●さかき	27
●非結球レタス	9	●さくら	27
●豆類(種実)	9	●さくらんぼ(おうとう)	27
●豆類(未成熟)	10	●さざんか	28
■ア		●さつまいも(かんしよ)	28
●アイリス	10	●さといも	28
●あかまつ	10	●さといも(葉柄)	28
●あけび(果実)	10	●さやいんげん	28
●あさつき	10	●さやえんどう	28
●あずき	11	●さるすべり	28
●アスター	11	●さるなし	29
●アスパラガス	11	●サルビア	29
●アテモヤ	11	●さんごじゅ	29
●甘長とうがらし	11	●さんしょう(果実)	29
●アリウム	11	●さんしょう(葉)	29
●あわ	11	●しいたけ	29
●あんず	11	●しきみ	29
●アンズリウム	11	●シクラメン	29
●いちご	12	●ししとう	29
●いちじく	12	●しそ	29
●いぬつげ	13	●しそ(花穂)	30
●いぬまき	13	●シネリア	30
●稲	13	●芝	30
●いんげんまめ	13	●じゃがいも(ばれいしょ)	30
●うど	13	●しゃくやく	31
●うめ	13	●しゃくやく(薬用)	31
●えごま(種子)	14	●しゃりんばい	31
●えだまめ	14	●宿根アスター	31
●エンサイ	14	●宿根かすみそう	31
●エンダイブ	14	●宿根スターチス	31
●えんどうまめ	14	●しゅんぎく	31
●おうとう	15	●しょうが	32
●オクラ	15	●食用ぎく	32
●オリーブ	15	●食用さくら	32
●オリーブ(葉)	15	●食用へちま	32
●オンシジウム	15	●食用ほおずき	32
■カ		●食用ミニバラ	32
●カーネーション	15	●食用ゆり	32
●ガーベラ	16	●飼料作物	32
●かえで	16	●しろうり	32
●かき	16	●しろな	32
●カトレア	17	●シンビジウム	32
●かなめもち	17	●すいか	32
●かぶ	17	●すいぜんじな	34
●かぼちゃ	17	●スイトピー	34
●からしな(種子)	18	●スターチス	34
●カリフラワー	18	●ズッキーニ	34
●かりん	18	●ストック	34
●かんきつ	18	●すもも	34
●キウイフルーツ	20	●セネガ	34
●ききょう	20	●ゼラニウム	34
●きく	20	●セルリー	34
●キャベツ	22	●せんきゅう	34
●きゅうり	23	●せんにちこう	34
●きり	26	●せんりょう	35
●きんせんか	26		
●茎ブロッコリー	26	●そば	35
●くちなし	26	●そらまめ	35
●グラジオラス	26	●未成熟そらまめ	35
●くり	26	●ソリダゴ	35
●クロトン	26	■タ	
●くろまつ	26	●だいおうしょう	35
●桑	26	●だいこん	35
		●だいず	36
		●たであい	36
		●たばこ	36
		●たまねぎ	36
		●たらのき	37
		●茶	37
		●チューリップ	38
		●チンゲンサイ	38
		●漬物用すいか	39
		●つつじ類	39
		●つばき類	40
		●つるむらさき	40
		●てんさい	40
		●とうがらし類	40
		●とうがん	41
		●とうき	41
		●とうもろこし	41
		●未成熟とうもろこし	41
		●トマト	41
		■ナ	
		●なし	43
		●なす	44
		●なたね	47
		●なつみかん	47
		●なばな	47
		●なばな類	47
		●にがうり	47
		●にしきぎ	47
		●にら	47
		●にら(花茎)	48
		●にんじん	48
		●にんにく	48
		●ねぎ	48
		●ネクタリン	49
		●のざわな	50
		■ハ	
		●パイナップル	50
		●パイナップル(苗木)	50
		●はくさい	50
		●葉しょうが	51
		●はすいも(葉柄)	51
		●ハスカップ	51
		●パセリ	51
		●葉たまねぎ	51
		●はつかだいこん	51
		●パッションフルーツ	52
		●はなっこりー	52
		●はなみずき	52
		●パパイア	52
		●はぼたん	52
		●ばら	52
		●パンジー	54
		●ピーマン	55
		●ひいらぎもくせい	56
		●ひえ	56
		●ひこしまはるな	56
		●ピタヤ	56
		●ひまわり	56
		●ひろしまな	56
		●びわ	56
		●びわ(葉)	56
		●斑入りアマドコロ	56
		●ふき	56
		●ふじまめ	56
		●ぶどう	57
		●ぶな(伐倒木)	58
		●プラタナス	58
		●プリムラ	58
		●ブルーベリー	58
		●ブロッコリー	58
		●ペゴニア	59
		●ペチュニア	59
		●ポインセチア	59
		●ほうれんそう	59
		●ホクシャ	60
		●ぼけ	60
		●ぼたん	60
		●ホップ	60
		■マ	
		●まくわうり	60
		●まさき	60
		●マリーゴールド	60
		●マルメロ	60
		●マンゴー	60
		●実えんどう	60
		●みかん	60
		●みしまさいこ	61
		●みずかけな	61
		●みずな	61
		●みつば	61
		●ミニトマト	61
		●みぶな	63
		●みやこわすれ	63
		●みょうが(花穂)	63
		●みょうが(茎葉)	63
		●麦類	63
		●メキャベツ	63
		●メロン	63
		●もも	64
		●もりあざみ	65
		●モロヘイヤ	65
		■ヤ ラ ワ	
		●やなぎ	65
		●やまのいも	66
		●やまのいも(むかご)	66
		●ゆうがお	66
		●ゆきやなぎ	66
		●ゆり	66
		●らっかせい	66
		●らっきょう	66
		●リアトリス	66
		●リーフレタス	66
		●りんご	66
		●りんご(苗木)	67
		●りんどう	68
		●レタス	68
		●わけぎ	68

型剤	商品名	成分名及び分類
スプレー剤	ベニカXファインスプレー	クロチアニジン[虫：ネオニコチノイド系]、フェンプロパトリン[虫：ピレスロイド系]、メバニピリム[菌：アニリノピリミジン系]
	ベニカXスプレー	ベルメトリン[虫：ピレスロイド系]、ミクロブタニル[菌：EBI 剤(ステロール生合成阻害剤)]
	ベニカグリーンV スプレー	フェンプロパトリン[虫：ピレスロイド系]、ミクロブタニル[菌：EBI 剤(ステロール生合成阻害剤)]
	ベニカマイルドスプレー	還元澱粉糖化物[虫菌]
	モスピラン・トップジンMスプレー	アセタミプリド[虫：ネオニコチノイド系]、チオファネートメチル[菌：ベンゾイミダゾール系]
	GF モストップジンRスプレー	アセタミプリド[虫：ネオニコチノイド系]、フェンプロパトリン[虫：ピレスロイド系]、チオファネートメチル[菌：ベンゾイミダゾール系]
	テルスタースプレー	ビフェントリン[虫：ピレスロイド系]
	ベニカJ スプレー	クロチアニジン[虫：ネオニコチノイド系]、フェンプロパトリン[虫：ピレスロイド系]
	ベニカベジフルスプレー	クロチアニジン[虫：ネオニコチノイド系]
	パイベニカVスプレー	ピレトリン[虫：ピレスロイド系]
	マイローズ殺菌スプレー	ミクロブタニル[菌：EBI 剤(ステロール生合成阻害剤)]
エアゾル剤	ベニカXファインエアゾール	クロチアニジン[虫：ネオニコチノイド系]、フェンプロパトリン[虫：ピレスロイド系]、メバニピリム[菌：アニリノピリミジン系]
	ベニカ DX	ブプロフェジン[虫：昆虫成長制御剤]、ベルメトリン[虫：ピレスロイド系]、ミクロブタニル[菌：ステロール生合成阻害剤]
	GF オルトランC	アセフェート[虫：有機リン系]、MEP[虫：有機リン系]、トリホリン[菌：EBI 剤(ステロール生合成阻害剤)]
	ベニカケムシエアゾール	クロチアニジン[虫：ネオニコチノイド系]、フェンプロパトリン[虫：ピレスロイド系]
	園芸用キンチョール E	ベルメトリン[虫：ピレスロイド系]
	カイガラムシエアゾール	クロチアニジン[虫：ネオニコチノイド系]、フェンプロパトリン[虫：ピレスロイド系]
粒剤	オルトラン DX 粒剤	アセフェート[虫：有機リン系]、クロチアニジン[虫：ネオニコチノイド系]
	家庭園芸用 GF オルトラン粒剤	アセフェート[虫：有機リン系]
	ベストガード粒剤	ニテンピラム[虫：ネオニコチノイド系]
	モスピラン粒剤	アセタミプリド[虫：ネオニコチノイド系]
	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤 3	ダイアジノン[虫：有機リン系]
	三明デナボン粒剤 5	NAC[虫：カーバメート系]
ペレット剤	サンケイデナボン5%ペイト	NAC[虫：カーバメート系]
	ネキリペイト	ベルメトリン[虫：ピレスロイド系]
	ナメナイト	メタルデヒド[虫：その他の合成殺虫剤]
乳剤・液剤・水和剤・フロアブル剤・(殺虫剤)	ベニカX乳剤	ベルメトリン [虫：ピレスロイド系]、ミクロブタニル [菌：EBI 剤 (ステロール生合成阻害剤)]
	アーリーセーフ	脂肪酸グリセリド「虫菌：天然殺虫殺菌剤」
	家庭園芸用 GF オルトラン水和剤	アセフェート [虫：有機リン系]
	GF オルトラン液剤	アセフェート [虫：有機リン系]
	オルチオン乳剤	アセフェート [虫：有機リン系]、MEP [虫：有機リン系]
	家庭園芸用マラソン乳剤	マラソン [虫：有機リン系]
	家庭園芸用スミチオン乳剤	MEP [虫：有機リン系]
	スミソン乳剤	マラソン [虫：有機リン系]、MEP [虫：有機リン系]
	ベニカR乳剤	フェンプロパトリン [虫：ピレスロイド系]
	ベニカS乳剤	ベルメトリン [虫：ピレスロイド系]
	ベニカ水溶剤	クロチアニジン [虫：ネオニコチノイド系]
	ベニカマツケア	クロチアニジン [虫：ネオニコチノイド系]
	ST アクテリック乳剤	ピリミホスメチル [虫：有機リン系]
	ST ゼンターリ顆粒水和剤	バチルスチューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素 (BT 剤) [虫：生物由来の殺虫成分]
	バロックフロアブル	エトキサゾール [ダニ：オキサゾリン系]
	ダニ太郎	ビフェナゼート [ダニ：ヒドラジン系]
	モスピラン液剤	アセタミプリド [虫：ネオニコチノイド系]
乳剤・液剤・水和剤・フロアブル剤・(殺菌剤)	GF ベンレート水和剤	ベノミル [菌：ベンゾイミダゾール系]
	サンケイエムダイファア水和剤	マンネブ [菌：有機硫黄殺菌剤]
	ST ダコニール 1000	TPN [菌：有機塩素系]
	ST サブロール乳剤	トリホリン [菌：EBI 剤 (ステロール生合成阻害剤)]
	ヤシマストマイ液剤 20	ストレプトマイシン [菌：抗生物質殺菌剤]
	サンボルドー	塩基性塩化銅 [菌：銅殺菌剤]
	サンケイオーソサイド水和剤 80	キャプタン [菌：有機塩素系]
	家庭園芸用レンテミン液剤	シイタケ菌糸体抽出物 [菌：生物由来の殺菌剤]
	家庭園芸用カリグリーン	炭酸水素カリウム [菌：無機殺菌剤]
	家庭園芸用トップジンMゾル	チオファネートメチル [菌：ベンゾイミダゾール系]
	兼商モレスタン水和剤	キノキサリン系 [菌虫]
粉剤	石原フロンサイド粉剤	フルアジナム [菌：その他の合成殺菌剤]
ペースト剤	トップジンMペースト	チオファネートメチル [菌：ベンゾイミダゾール系]

●適用作物のグループ化について

- ・農業取締法改正により一部の作物ではグループ化された作物名で登録が認められるようになりました。グループ作物名は下記の一覧表の通りですが、グループ化されていない作物は従来通り、作物名毎の登録になります。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に該当する薬剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。
- 「トマト、ミニトマト（直径3cm以下）」「レタス、非結球レタス」「ピーマン、シシトウ」「ねぎ、わけぎ、あさつき」「だいこん、はつかだいこん」は分離されそれぞれの適用作物として登録されます。ハーブは「野菜類」に含まれます。ばらは「花き類・観葉植物」に含まれます。

作物のグループ名		含まれる作物名
野菜類 (ハーブを含む)		【あ】アーティチョーク、アイスプラント、あけび（茎葉）、あさつき、あしたば、アスパラガス、あまちゃ、アマランサス（茎葉）、いちご、いちよう（葉）、うこぎ、うこん、うすばさいしん、うど、えびすぐさ（茎葉）、エンサイ、エンダイブ、おうぎ、おうれん、おかのり、おかひじき、オクラ、おけら、おらんだわれもこう、オリーブ（葉）、【か】かえんさい、かき（葉）、かのこそう、かぶ、かぼちゃ、カモミール、カリフラワー、カレーブラン、かわらけつめい、かんしょ（茎葉）、かんぞう（花）、きく（葉）、ぎぼうし、キャベツ、キャラウエイ（葉）、きゅうり、きゅうり（花）、きゅうり（葉）、ぎょうじゃにんにく、グアバ（葉）、くきちしゃ、茎ブロッコリー、くこ（果実）、くこ（葉）、くさそてつ、クレソン、くわい、げんのしょうこ、こおにたびらこ、コールラビ、こがねばな、ごぼう、コンフリー、【さ】ザーサイ、さといも（葉柄）、サフラン、さわあざみ、さんしょう（葉）、じおう、しそ（花穂）、しゃくやく（薬用）、しゅんぎく、じゅんさい、しょうが、食用アジアンタム、食用アスター、食用あまどころ、食用アロエ、食用インパチェンス、食用カーネーション、食用かえで（葉）食用ぎく、食用金魚草、食用きんせんか、食用桑（葉）、食用月桂樹、食用コスモス、食用さくら（葉）、食用シネリリア、食用すいば、食用ストック、食用すべりひゆ、食用西洋たんぽぽ、食用せんにちこう、食用トレニア、食用ナスタチウム、食用なでしこ、食用パンジー、食用プリムラ、食用ペチュニア、食用べにばな（花）、しょくようほおずき、食用ミニバラ、食用やぐるまぎく、食用ゆり、食用ラベンダー、食用ルドベキア、すいか、すいぜんじな、ズッキーニ、ズッキーニ（花）、西洋ごぼう、セネガ、セルリアック、せんきゅう、せんぷり、ぜんまい、【だ】だいおう、だいこん、たけのこ、たまねぎ、タラゴン、たらのき、チコリ、チコリ（根株）、チャイブ、ちょうぎ、つるな、つるむらさき、つわぶき、とうがらし（葉）、とうき、とうすけぼうふう、どくだみ、とちゅう（葉）、トマト、とりかぶと（薬用）、トレビス、【な】なす、なずな、なんてん（葉）、にがうり、にら、にら（花茎）、にんじん、にんにく、にんにく（花茎）、ねぎ、のびる、【は】はくさい、はこべ、葉ごぼう、葉しょうが、はすいも（葉柄）、葉たまねぎ、畑わさび、畑わさび（葉）、はつかだいこん、花オクラ、パニラ、葉にんにく、ははこぐさ、はぶそう（茎葉）、はまぼうふう（葉）、ピーマン、ひきおこし、非結球メキャベツ、びわ（葉）、ふき、ふき（ふくのとう）、ふだんそう、フロレンスフェネル、ブロッコリー、ほうきぎ、ほうれんそう、ほそばわだん、ぼたんぼうふう、ボリジ、【ま】マーシュ、まくわうり、まこもたけ、マジョラム、みしまさいこ、みずいも（葉柄）、ミニトマト、みょうが（茎葉）、みょうが（花穂）、紫うこん、メキャベツ、メロン、もみじがさ、もりあざみ、モロヘイヤ、【や】薬用にんじん、ヤーコン（茎葉）、やなぎたで、やまのいも（むかご）、ヤングコーン、ゆきのした、よぶすまそう、よめな、よもぎ、【ら】らっきょう、ルバーブ、レタス、レモングラス、レモンパーベナ、れんこん、【わ】わけぎ、わさび、わさびだいこん、わらび
	うり類（漬物用）	赤毛ウリ、食用ひょうたん、食用へちま、しろうり、漬物用すいか、漬物用まくわうり、漬物用メロン、とうがん、はやとうり、ゆうがお
	とうがらし類	甘長とうがらし、かぐらなんばん、きだちとうがらし、ししとう、とうがらし、ハバロネ、ピカンテ
	なばな類	あさまこな、あすっこ、アレッタ、おおさきな、太田かぶ、オータムボエム、大野菜、かいらん、かきな、勝山水菜、くきたちな、こうさいたい、さいしん、三景雪菜、チンゲンサイ（なばな栽培）、摘菜花、つぼみな、なばな、のらぼうな、博多蕾菜、はたけな（なばな栽培）、はなっこりー、みずかけな、めいけな
	非結球あぶらな科葉菜類	あざみな、あじみな、海野（茎葉）大山そだち、カーボロネロ、かほくな、からしな、木曾菜、ケール、こまつな、さがみグリーン、さめきな、さんとうさい、四川搾菜（茎葉）、しろな、仙台芭蕉菜、仙台雪菜、子宝菜1号、子宝菜2号、タアサイ、たいさい、たかな、チンゲンサイ、食べて菜、てごろ菜、長崎はくさい、なかじまな、のざわな、博多白菜、パクチョイ、はたけな、ひこしまはるな、ひろしまな、べんり菜、みずな、みぶな、山形みどりな、やまとまな、ルッコラ、わさびな
	非結球レタス	かきちしゃ、サラダ菜、立ちちしゃ、美味タス、リーフレタス
	豆類（未成熟）	えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、未成熟ささげ、未成熟しかくまめ、未成熟そらまめ、未成熟なたまめ、未成熟ふじまめ
	しそ科葉菜類	えごま（葉）、オレガノ、しそ、セージ、タイム、バジル、はっか、レモンバーム、ローズマリー
	せり科葉菜類	きんさい、コリアンダー（葉）、せり、セルリー、チャービル、ディル（葉）、にんじん（葉）、パセリ、フェネル（葉）、みつば
いも類		アメリカホドイモ、かんしょ、きくいも、こんにやく、さといも、はすいも（塊茎）、ばれいしょ、みずいも、ヤーコン、やまのいも
豆類（種実）		あずき、いんげんまめ、えんどうまめ、ささげ、そらまめ、だいず、なたまめ、ふじまめ、べにばないんげん、らっかせい
雑穀類	とうもろこし	とうもろこし（子実）、未成熟とうもろこし
	いね科細粒雑穀類	あわ、きび、ひえ
		アマランサス（種子）、キノア、食用ソルガム、そば、はとむぎ
米		稲
麦類		えんばく、大麦、小麦、ライ麦
きのこ類		えのきたけ、エリンギ、しいたけ、なめこ、ひらたけ、ぶなしめじ、まいだけ、マッシュルーム
飼料作物	牧草	いね科牧草、まめ科牧草
		飼料用えんばく、飼料用とうもろこし、ソルガム

作物のグループ名		含まれる作物名
果樹類	かんきつ	天草、アンコール、伊予柑、大紅みかん、オレンジ、カーブチー、かぼす、カラ、河内晩柑、清見、きんかん、グレープフルーツ、サガマンダリン、サマーフレッシュ、シークワサー、じゃばら、不知火、すだち、せとか、セミノール、タロガヨ、たんかん、長門ユズキチ、なつみかん、ネーブル、はっさく、はるか、はるみ、はれひめ、日向夏、ぶんたん、平兵衛酢、ぽんかん、マーコット、みかん、ゆず、ライム、レモン
	小粒核果類	あんず、うめ、すもも
	ベリー類	アロニア、食用桑（果実）、すぐり、ハスカップ、ふさすぐり、ブラックベリー、ブルーベリー、ラズベリー
		【あ】あけび（果実）、アセロラ、アテモヤ、アボカド、いちじく、いちよう（種子）、おうとう、オリーブ、【か】かき、カニステル、がまずみ、かりん、キウイフルーツ、グアバ（果実）、くさぼけ、くり、くるみ、ゴレンシ、【さ】ざくろ、サボジラ、さるなし、さんざし（果実）、さんしょう（果実）、ジャボチカバ、食用つばき（種子）、ストロベリーグアバ【だ】チェリモヤ、【な】なし、なつめ、ネクタリン、【は】パイナップル、パッションフルーツ、バナナ、はまなす（果実）、パパイヤ、パンレイシ、ピタヤ、ピタンガ、びわ、フェイジョア、ぶどう、ペカン、ペビーノ、ポポー、ホワイツサボテ、【ま】マルメロ、マンゴー、ミラクルフルーツ、むべ、もも、【や】やまもも、【ら】リュウガン、りんご、レイシ、レンブ
花き類・観葉植物（ばらを含む）		【あ】アイスランドポピー、アイビーゼラニウム、アイリス、アガパンサス、アゲラタム、あさがお、あざみ、アジアントム、アジュガ、アスター、アスチルベ、アツツザクラ、アナナス、アネモネ、アマゾンリリー、アマダコロ、アメリカンブルー、アリウム、アルストロメリア、アロエ、アンズリウム、インパチェンス、うつぼかずら、エキザカム、エムルス、おかめざさ、オドントグロッサム、おみなえし、おもと、オンシジウム、【か】カーネーション、ガーベラ、ガザニア、かすみそう、カトレア、カラー、カラジウム、カランコエ、カルセオリア、かわらけつめい、カンガルーポー、観賞用アスパラガス、観賞用なす、観賞用もうそうちく、カンパニュラ、ききよう、きく、金魚草、きんせんか、グラジオラス、クリサンセマム、クリスマスローズ、クルクマ、クレマチス、グロキシニア、クロッカス、グロリオサ、けいとう、げっとう、ゴールドエンクラッカー、コスモス、こちょうらん、ゴデチア、コリウス、コレオプシス、【さ】さくらそう、サボナリア、サルビア、さわぎきょう、サンセベリア、サンダーソニア、シーマニア、シクラメン、シネリリア、しばざくら、しゃくやく、しゅうめいぎく、宿根アスター、宿根かすみそう、宿根スターチス、シンビジウム、すいせん、スイトピー、スターチス、ストック、ストレプトカーパス、ストレリチア、すなごけ、スパティフィラム、スピードリオン、すみれ、ゼラニウム、セントポーリア、せんにちこう、ソリダゴ、ソリダスター、【だ】たにわたり、ダリア、だいもんじそう、チューベローズ、チューリップ、つる日々草、ディサ、ディフェンバキア、ディモルホセカ、デージー、デルフィニウム、デンドロビウム、デンマークカクタス、とりかぶと、トルコギキョウ、トレニア、【な】ナスタチウム、なでしこ、ニーレンベルギア、ニゲラ、日々草、ネモフィラ、ノラナ、【は】パーベナ、はげいとう、パコバ、はなしょうぶ、はなとりかぶと、花はす、はなびしろう、はぼたん、ばら、パンジー、パンダ、ひおうぎ、ヒポエステス、ひまわり、ひめのぼたん、ひめひまわり、百日草、ヒヤシンス、フィカス・ブミラ、斑入りアマダコロ、フィロデンドロン、ブータンリマツリ、ブブレウラム、ブライダルベル、ブラキカム、フリージア、プリムラ、ブルーサルビア、ブルースター、ブルーデージー、ブルーレースフラワー、フロックス、フロワリア、ペゴニア、ベチュニア、ヘデラ、べにばな、ペビーローズ、ペラルゴニウム、ヘリクリサム、ヘルコニア、ペロニカ、ほうせんか、ほおずき、ポーチュラカ、ぼたん、ポトス、ホワイトレースフラワー、【ま】マーガレット、まつばぼたん、マトリカリア、マリーゴールド、ミムラス、みやこわすれ、ミルトニア、ムスカリ、モンステラ、【や】やぐるまぎく、ゆうぜんぎく、ユーフォルビア・フルゲンス、ゆり、ユリオプスデージー、【ら】ラークスパー、ライスフラワー、ラナンキュラス、ラパテラ、ラベンダー、リアトリス、リシマキア、リムナンテス、りんどう、ルドベキア、ルビナス、レザーファン、レッドジンジャー、れんげ、ローレンティア、ロケア、ロベリア、【わ】わすれなぐさ、われもこう
樹木類	つつじ類	アザレア、おおむらさき、くるめつつじ、さつき、しゃくなげ
	つばき類	さざんか、とうつばき、やぶつばき、ゆきつばき
		【あ】アカシア、あじさい、アッサムニオイザクラ、アフelandラ、あらかし、アラレア、アレカヤシ、いぬまき、うばめがし、うめもどき、エリカ、おうごんくじゃくひば、【か】かくれみの、ガジュマル、かなめもち、カロライナジャスミン、かんのんちく、きづた、きんぼうじゅ、くちなし、クロサントラ、クロトン、げっきつ、けやき、ケンチャヤシ、こうやまき、ゴールドクレスト、こでまり、コトネアスター、ゴムノキ、コルディリネ、コンロンカ、【さ】さかき、さくら、さるすべり、さんごじゅ、さんごみずき、さんざし、さんしゅゆ、さんたんか、シェフレラ、しきみ、ジャカラダ、ジャスマナ・ポリアンサ、しゃりんばい、しらかし、じんちゅうげ、すぎ、せいよういわなんてん、せいようばくちのき、せんりょう、【だ】ちょうせんまき、つげ、テーブルヤシ、デュランタ、とっくりらん、とべら、ドラセナ、【な】ななかまど、なんてん、にしきぎ、のうぜんかずら、のぼたん、【は】ハイビスカス、はいびやくしん、パキラ、はなみずき、ひいらぎなんてん、ひさかき、ひのき、ヒペリカム、ブーゲンビリア、ふっきそう、ブバルディア、ベンジャミン、ポインセチア、ホクシャ、ポリシャス、ポロニア、【ま】まさき、まんさく、マンデビラ、みずき、もくせい、もっこく、【や】やなぎ、やぶさんざし、ユウカリ、ゆきやなぎ、ユッカ、【ら】ランタナ、ルリマツリ、れんぎょう
芝	西洋芝	西洋芝（オーチャードグラス）、西洋芝（ケンタッキーブルーグラス）、西洋芝（ティフトン、バーミューダグラス）、西洋芝（フェスク、ブルーグラス）、西洋芝（ペレニアルライグラス）、西洋芝（ペンドグラス）、西洋芝（ライグラス）
	日本芝	日本芝（こうらいしば）、日本芝（ひめこうらいしば）、日本芝（のしば）
【グループ化に含まれない作物】		えごま（種子）、えびすぐさ（種子）、キャラウエイ（果実）、からしな（種子）、ごま、コリアンダー（果実）、さとうきび、しそ（種子）、食用亜麻、食用べにばな（種子）、茶、ディル（種子）、てんさい、なたね、はぶそう（種子）、ひし、ひまわり（種子）、フェネル（種子）、ホップ、いぐさ、しちとうい、たばこ、あま、桑

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	花き類・観葉植物	アオムシ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
☆	花き類・観葉植物(ばら、プリムラ、パンジーを除く)	アザミウマ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
	花き類・観葉植物		家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
	花き類・観葉植物 (きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウムを除く)		家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
	花き類・観葉植物		家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	発生初期	6回	散布(100～300mL/㎡)
	花き類・観葉植物(ペゴニア、はばたん、ガーベラを除く)		オルトランDX粒剤	1g/株 (40g/㎡まで)	発生初期	4回/アセフェ5回、クロ4回	生育期株元処理
	花き類・観葉植物	パイベニカVスプレー	原液	—	6回	散布	
	花き類・観葉植物(きく、きんせんかを除く)	ベストガード粒剤	1～2g/株	発生初期	4回	生育期株元散布	
		ベストガード粒剤	3～5g/培土L	定植前	1回/ニテン4回	培土混和	
	花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラ、カトレアを除く)	ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布	
	花き類・観葉植物(ばら、きく、サルビアを除く)	ベニカXスプレー	—	—	—	散布	
	花き類・観葉植物(ばら、ペゴニアを除く)	ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
	花き類・観葉植物(ばら、プリムラ、パンジーを除く)	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
	花き類・観葉植物(ガーベラ、カトレアを除く)	ベニカベジフルスプレー	原液	—	4回	散布	
	花き類・観葉植物	ベニカマイルドスプレー	原液	発生初期	—	散布	
	花き類・観葉植物(きく、ばら、プリムラ、シンビジウムを除く)	モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布	
	花き類・観葉植物	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)	
	花き類・観葉植物(きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウムを除く)	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	発生初期	5回	株元散布	
	花き類・観葉植物	GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布	
		家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	発生初期	6回	散布(100～300mL/㎡)	
		スミソン乳剤	1000倍	—	6回	散布	
☆		ベニカR乳剤	100倍	—	6回以内	散布(100～300mL/㎡)	
		花き類・観葉植物(ばら、きく、はばたん、マリーゴールド、カーネーションを除く)	ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
	花き類・観葉植物 (ばら、きくを除く)	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	発生初期	4回	散布(100～300mL/㎡)	
☆	花き類・観葉植物	カタツムリ類	ナメナイト	1～3kg/10a	—	6回	株元散布
	花き類・観葉植物(ばら、プリムラ、パンジーを除く)	コナジラミ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカマイルドスプレー	原液	発生初期	—	散布
☆	花き類・観葉植物	ナメクジ類	ナメナイト	1～3kg/10a	—	6回	株元散布
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	6回以内	株元散布
		ハダニ類	GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回//アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布
			アーリーセーフ	600倍	—	—	散布(150～500mL/㎡)
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
			花き類・観葉植物(ばら、プリムラ、パンジーを除く)	ベニカマイルドスプレー	原液	発生初期	—

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	☆ 花き類・観葉植物	ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	発生初期	6回	散布(100～300mL/㎡)
			バロックフロアブル	2000倍	発生初期	1回	散布(100～300L/10a)
			ベニカR乳剤	100倍	—	6回以内	散布(100～300mL/㎡)
		バッタ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
		ハマキムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
	花き類・観葉植物 (はばたんを除く)		ベニカS乳剤	200倍	発生初期	6回	散布(100～300mL/㎡)
	花き類・観葉植物(ばら、プリムラ、パンジーを除く)	ハモグリバエ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		ハスモンヨトウ	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
	花き類・観葉植物 (はばたんを除く)	ヨトウムシ類	ベニカS乳剤	200倍	発生初期	6回	散布(100～300mL/㎡)
	花き類・観葉植物		家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
	花き類・観葉植物(さく、宿根スターチス、カーネーション、アリウム除く)		家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
	花き類・観葉植物 (ばらを除く)	うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～300L/10a)
	花き類・観葉植物		アーリーセーフ	600倍	—	—	散布(150～500mL/㎡)
	花き類・観葉植物 (カーネーションを除く)		兼商モレスタン水和剤	2000～3000倍	—	—	散布
	花き類・観葉植物		家庭園芸用カリグリーン	800倍	発病初期	—	散布(150～500mL/㎡)
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	—	2回/シフルフェ5回/トリフ5回	散布(100～300L/a)
	花き類・観葉植物 (ばら、さく、サルビア除く)		ベニカXスプレー	—	—	—	散布
	花き類・観葉植物(ばら、プリムラ、パンジーを除く)		ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
	花き類・観葉植物(ばら、さく、はばたん、マリーゴールド、カーネーションを除く)		ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
	花き類・観葉植物		ベニカマイルドスプレー	原液	発生初期	—	散布
	花き類・観葉植物 (ばらを除く)		マイローズ殺菌スプレー	原液	—	—	散布
	花き類・観葉植物(ばら、りんどう、せんにちこう、コスモス、ひまわり、シネリア、スイトピー、みやこわすれ、アンスリウム、斑入りアマドコロを除く)	茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
	花き類・観葉植物	ピシウム・リゾクトニア菌による病害(苗立枯病等)	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の0.2～0.4%	は種前	1回/8回	種子粉衣
	花き類・観葉植物(ばら、りんどう、せんにちこう、コスモス、ひまわり、シネリア、スイトピー、みやこわすれ、アンスリウム、斑入りアマドコロを除く)	苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
	樹木類(つつじ類、つばき類、さくらを除く)	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(200～700mL/㎡)
☆	樹木類(つつじ類、ひいらぎもくせい、まさき、さるすべり、はなみずきを除く)	アブラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
	樹木類		家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
			カイガラムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射(30cm離す)
☆	樹木類(つつじ類、ひいらぎもくせい、まさき、さるすべり、はなみずきを除く)	カイガラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	樹木類	ゲンバイムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
		アメリカシロヒトリ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	500～1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
		ケムシ類	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期	—	散布(200～700mL/㎡)
	樹木類(さざんか、まさき、 ぼけを除く)		ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
☆	樹木類 (つつじ類、ひいらぎもくせい、 まさき、さるすべり、はなみずきを除く)		ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
	樹木類 (まさき、つつじ類、くちなし、 さんごじゅ、さるすべりを除く)		ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射 (30cm離す)
	樹木類		ベニカマツケア	250倍	—	4回	散布(200～700mL/㎡)
☆	樹木類(つつじ類を除く)		オルチオン乳剤	200～400倍	発生初期	5回/アセ5回/MEP6回	散布(200～700mL/㎡)
	樹木類(つつじ類、つばき類、 さるすべり、かなめもちを除く)		ベニカJスプレー	原液	発生初期	6回	散布
	樹木類		ベニカS乳剤	400～800倍	発生初期	6回	散布(200～700mL/㎡)
	樹木類 (つつじ類、さるすべりを除く)		ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
	樹木類	シャクトリムシ類	ベニカS乳剤	400～800倍	発生初期	6回	散布(200～700mL/㎡)
		ハダニ類	バロックフロアブル	2000倍	発生初期	1回	散布(200～700L/10a)
	樹木類(こでまり、ボインセチア、 やなぎを除く)	うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	2000倍	—	—	散布
	樹木類	ごま色斑点病	GFベンレート水和剤	2000倍	発病初期	—	散布(200～700mL/㎡)
		炭そ病	GFベンレート水和剤	2000倍	発病初期	—	散布(200～700mL/㎡)
		切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	1回/他5回	塗布
		輪紋葉枯病	GFベンレート水和剤	2000倍	発病初期	—	散布(200～700mL/㎡)
	果樹類	アブラムシ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布
		ハダニ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布
		ハマキムシ類	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	散布(200～700mL/㎡)
		うどんこ病	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布
	果樹類(小粒核果類、もも、 りんご、なし、かき、マルメロ、 かりん、いちじく、かんきつ、 おうとう、びわ、キウイフルーツ、 ぶどう、くり、オリーブを除く)	切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回	塗布
	小粒核果類	ハダニ類	ダニ太郎	1000～1500倍	収穫3日前	1回	散布(200～700L/10a)
		切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回/すもも6回(塗布3回、休眠期散布1回、生育期散布3回)、他6回(塗布3回、散布3回)	塗布
		黒星病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800～1000倍	収穫21日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		すす斑病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫21日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
	野菜類(はくさいを除く)	アオムシ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000～2000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
	野菜類(なす、トマト、ミニ マトを除く)	アブラムシ類	アーリーセーフ	300倍	収穫前日	—	散布(150～500mL/㎡)
	野菜類		ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布
	野菜類(はくさいを除く)	コナガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000～2000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
	野菜類(なす、トマト、ミニ マトを除く)	コナジラミ類	アーリーセーフ	300倍	収穫前日	—	散布(150～500mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	野菜類	コナジラミ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	－	散布
	野菜類(はくさいを除く)	オオタバコガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	－	散布(100～ 300mL/㎡)
	野菜類(なす、トマト、ミニ マトを除く)	ハダニ類	アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	－	散布(150～ 500mL/㎡)
	野菜類		ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	－	散布
	野菜類(はくさいを除く)	シロイチモジ ヨトウ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	－	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハスモン ヨトウ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	－	散布(100～ 300mL/㎡)
		ヨトウムシ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000～2000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	－	散布(100～ 300mL/㎡)
	野菜類(なす、トマト、ミニ マトを除く)	うどんこ病	アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	－	散布(150～ 500mL/㎡)
	野菜類 (トマト、ミニマトを除く)		家庭園芸用カリグリーン	800～1000倍	収穫前日	－	散布(100～ 300mL/㎡)
	野菜類		ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	－	散布
	野菜類 (トマト、ミニマトを除く)	さび病	家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	－	散布(100～ 300mL/㎡)
	野菜類	ピシウム・リゾ クトニア菌に よる病害(苗 立枯病等)	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回	種子粉衣
	野菜類 (トマト、ミニマトを除く)	灰色かび病	家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	－	散布(100～ 300mL/㎡)
	野菜類	フザリウム菌 による病害	GFベンレート水和剤	乾燥種子重 0.16%	は種前	1回	粉衣
	いも類	アブラムシ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	－	散布
		コナジラミ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	－	散布
		ハダニ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	－	散布
		ハスモン ヨトウ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	－	散布(100～ 300mL/㎡)
		うどんこ病	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	－	散布
	うり科野菜類	ウリノメイガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	－	散布(100～ 300mL/㎡)
	うり類(漬物用)	アブラムシ類	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ウリハムシ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
	うり類 (漬物用、ゆうがおを除く)	うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～ 300L/10a)
	うり類(漬物用)		パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～ 300L/a)
		炭そ病	GFベンレート水和剤	1000倍	定植前～ 収穫45日前	2回/他3回	灌注(150～ 300mL/株)
	STダコニール1000		1000倍	収穫前日	4回	散布(100～ 300L/10a)	
	うり類 (漬物用、ゆうがおを除く)	つる枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～ 300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～ 300L/10a)
	しそ科葉菜類 (えごま(葉)を除く)	ハダニ類	ダニ太郎	1500倍	収穫3日前	1回	散布(100～ 300L/10a)
☆	非結球あぶらな科葉菜類(こ まつな、チンゲンサイを除く)	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫7日前まで	3回以内	散布
	非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイを除く)		モスピラン粒剤	3g/㎡	は種時	1回	播溝土壌 混和
		コナガ	モスピラン粒剤	3g/㎡	は種時	1回	播溝土壌 混和
	非結球あぶらな科葉菜類(ミ ズナ、チンゲンサイを除く)	炭そ病	GFベンレート水和剤	4000倍	収穫21日前	1回/他2回(種子粉衣1回、散布1回)	散布(100～ 300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	非結球あぶらな科葉菜類 (ただし、ケール、こまつな、みずな、みぶな、のざわなを除く)	根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌混和
☆	非結球あぶらな科葉菜類(ミズナ、チンゲンサイを除く)	白斑病	GFベンレート水和剤	4000倍	収穫21日前	1回/他2回(種子粉衣1回、散布1回)	散布(100～300mL/㎡)
☆	非結球レタス	アブラムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫21日前まで	3回以内	散布
			モスピラン粒剤	0.25～0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他2回(粒剤株元散布1回、散布1回)	株元散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	2回/クワ3回 (育苗期株元処理1回、散布2回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前	2回/クワ3回 (育苗期株元処理1回、散布2回)	散布
		オオタバコガ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他2回 (粒剤株元散布1回、散布1回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫21日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		ナモグリバエ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	2回/クワ3回 (育苗期株元処理1回、散布2回)	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他2回(粒剤株元散布1回、散布1回)	株元散布
		ヨトウムシ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他2回(粒剤株元散布1回、散布1回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	収穫21日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
☆		すそ枯病	石原フロンサイド粉剤	30kg/10a	は種又は定植前	1回/2回(土壌混和1回、土壌散布1回)	全面土壌混和
☆		ビッグベイン病	石原フロンサイド粉剤	30kg/10a	は種又は定植前	1回/2回(土壌混和1回、土壌散布1回)	全面土壌混和
	豆類 (種実、ただし、らっかせい、だいず、いんげんまめを除く)	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(種実)		ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布
	豆類(種実、但し、あずき、えんどうまめ、そらまめを除く)		家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(種実)	ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他[だいず6回(種子粉衣1回、粒剤5回<生育期処理4回>)、あずき4回(種子粉衣1回、は種時処理1回、生育期処理3回)、いんげんまめ3回(種子粉衣1回、粒剤2回)、らっかせい1回、記載以外豆類(種実)4回(種子粉衣1回)]	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他[だいず6回(種子粉衣1回、粒剤5回<生育期処理4回>)、あずき4回(種子粉衣1回、は種時処理1回、生育期処理3回)、いんげんまめ3回(種子粉衣1回、粒剤2回)、らっかせい1回、記載以外豆類(種実)4回(種子粉衣1回)]	土壌混和
		コナジラミ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布
	豆類(種実、但し、あずき、えんどうまめ、そらまめを除く)	ダイズサヤタマバエ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(種実)	タネバエ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他[だいず6回(種子粉衣1回、粒剤5回<生育期処理4回>)、あずき4回(種子粉衣1回、は種時処理1回、生育期処理3回)、いんげんまめ3回(種子粉衣1回、粒剤2回)、らっかせい1回、記載以外豆類(種実)4回(種子粉衣1回)]	土壌混和
		ハダニ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布
	豆類(種実、但し、あずき、えんどうまめ、そらまめを除く)	シロイチモジ マダラメイガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		マメシンクイ ガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		マメヒメサヤ ムシガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(種実)	ハスモン ヨトウ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
		うどんこ病	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	豆類 (種実、ただし、だいず、いんげんまめ、えんどうまめ、らっかせいを除く)	菌核病	GFベンレート水和剤	1000～2000倍	収穫14日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(種実)	ピシウム・リゾクトニア菌による病害(苗立枯病等)	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の0.2～0.4%	は種前	1回	種子粉衣
		フザリウム菌による病害	GFベンレート水和剤	乾燥種子重0.16%	は種前	1回	粉衣
	豆類(未成熟)	アザミウマ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
☆	豆類(未成熟、ただし、えだまめを除く)	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回以内	散布
	豆類(未成熟、但し、未成熟そらまめを除く)		家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟、但し、さやえんどう、未成熟そらまめを除く)	ウラナミシジミ	ベニカS乳剤	300倍	収穫14日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟)		家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟、但し、未成熟そらまめを除く)	カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟)	コガネムシ類(成虫)	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟、但し、未成熟そらまめを除く)	ダイズサヤタマバエ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		インゲンテントウ	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
☆	豆類(未成熟)	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	3回以内	株元散布
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		ハモグリバエ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟、但し、未成熟そらまめを除く)	シロイチモジマダラメイガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟)		家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟、但し、未成熟そらまめを除く)	マメシンクイガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		マメヒメサヤムシガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟、但し、さやえんどう、未成熟そらまめを除く)	ヨトウムシ類	ベニカS乳剤	300倍	収穫14日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	豆類(未成熟、但し、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)	菌核病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫30日前	3回/他6回 (種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
		立枯病	GFベンレート水和剤	1000倍	発芽14日前	2回/他6回 (種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	灌注(3L/㎡)
	アイリス	青かび病	サンケイ オーソサイド水和剤80	400倍	植付前	8回	球根浸漬 (30分間)
	あかまつ	マツノマダラカミキリ成虫	ベニカマツケア	60倍	成虫の発生直前から発生初期	4回	散布(3L/本) 樹高10m
	あけび(果実)	ハダニ類	ダニ太郎	1000倍	収穫7日前	1回	散布(200～700L/10a)
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布(100～300mL/㎡)
☆		ネギアザミウマ	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	4回以内(株元散布2回)	散布
			モスピラン粒剤	6g/㎡	植付時	1回/他4回 (土壌混和は合計1回、散布は3回)	植溝土壌混和
			モスピラン粒剤	6g/㎡	は種時	1回/他4回 (土壌混和は合計1回、散布は3回)	播溝土壌混和
	あさつき	コガネムシ類(幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
		タネバエ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	3回以内	株元散布
		ネギハモグリバエ	ベストガード粒剤	6kg/10a	定植時	1回	植溝処理 土壌混和
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布(100～300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	あさつき	ネギハモグリバエ	モスピラン粒剤	6g/m ²	植付時	1回/他4回 (土壌混和は合計1回、散布は3回)	植溝土壌混和
			モスピラン粒剤	6g/m ²	は種時	1回/他4回 (土壌混和は合計1回、散布は3回)	播溝土壌混和
	あずき	アザミウマ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/m ²)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	4回	散布(100～300mL/m ²)
		コガネムシ類 (成虫)	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	2回	散布(100～300L/10a)
☆			ベニカR乳剤	100倍	7日前まで	3回以内	散布(100～300mL/m ²)
		ハモグリバエ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		フキノメイガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		マメシロイガ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
	アスター	ウリハムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/m ²)
	アスパラガス	ネギアザミウマ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/m ²)
		アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/m ²)
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/m ²)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/m ²	収穫前日まで	3回	株元散布
		ジュウシホシク ビナガハムシ	STアクテリック乳剤	1000倍	収穫7日前	2回	散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/m ²)
		ヨトウムシ	ベニカS乳剤	200倍	前日まで	3回	散布(100～300mL/m ²)
		疫病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～400L/10a)
		褐斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～400L/10a)
		株腐病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/m ²)
		茎枯病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/m ²)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～400L/10a)
		斑点病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～400L/10a)
	アテモヤ	ハダニ類	ダニ太郎	1000倍	収穫7日前	1回	散布(200～700L/10a)
	甘長(あまなが)とうがらし	炭そ病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	3回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回)	散布(100～300L/10a)
	アリウム	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/m ²	発生初期	5回	株元散布
		アブラムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/m ²	発生初期	5回	株元散布
		ネギコガ	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/m ²	発生初期	5回	株元散布
		ヨトウムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/m ²	発生初期	5回	株元散布
☆	あわ	アワノメイガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	2000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	散布(100～300mL/m ²)
	あんず	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700mL/m ²)
		黒星病	GFベンレート水和剤	3000倍	収穫7日前	1回	散布(200～700mL/m ²)
☆		すす斑病	GFベンレート水和剤	3000倍	収穫7日前	1回	散布(200～700mL/m ²)
	アンスリウム	茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/m ²)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	アンスリウム	立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		根腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
	いちご	ミカンキイロ アザミウマ	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫3日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
		アブラムシ類	パイベニカVスプレー	原液	収穫前日まで	5回	散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫3日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ベストガード粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	3回	散布
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植時	1回/他3回 (株元散布・土壌混和1回、散布・くん煙2回)	植穴土壌 混和
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	生育期(定植30日 後まで)マルチ直前	1回/他3回 (株元散布・土壌混和1回、散布・くん煙2回)	株元散布
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植時	1回/他3回 (株元散布・土壌混和1回、散布・くん煙2回)	株元散布
		コガネムシ類 (幼虫)	モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他3回 (株元散布・土壌混和1回、散布・くん煙2回)	植穴土壌 混和
		コナジラミ類	モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他3回 (株元散布・土壌混和1回、散布・くん煙2回)	植穴土壌 混和
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		ハダニ類	ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	3回	散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫3日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	2回	散布(100～300L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	1回	散布(100～350L/10a)
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
☆		萎黄病	GFベンレート水和剤	500倍	仮植前	1回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回(苗 根部浸漬1回、本圃定植後1回))	苗根部浸漬 (1～3時間)
☆			GFベンレート水和剤	500倍	育苗期	3回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回(苗 根部浸漬1回、本圃定植後1回))	灌注(50～100mL/株)
☆			GFベンレート水和剤	500倍	本圃定植後 但し、 収穫30日前	1回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回(苗 根部浸漬1回、本圃定植後1回))	灌注(100mL/株)
		うどんこ病	STサプロール乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
			兼商モレスタン水和剤	3000～4000倍	収穫前日	2回	散布
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～300L/a)
			ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	3回	散布
☆		炭そ病	GFベンレート水和剤	500倍	仮植前	1回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回(苗 根部浸漬1回、本圃定植後1回))	苗根部浸漬 (10～30分間)
☆			GFベンレート水和剤	500倍	育苗期	3回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回(苗 根部浸漬1回、本圃定植後1回))	灌注(50～100mL/株)
☆			GFベンレート水和剤	500倍	本圃定植後 但し、 収穫30日前	1回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回(苗 根部浸漬1回、本圃定植後1回))	灌注 (100mL/株)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫30日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		灰色かび病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫30日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		芽枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫30日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	いちご(露地栽培)	アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	2000倍	収穫21日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
	いちじく	アザミウマ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	2000倍	収穫45日前	1回	散布(200～700mL/㎡)
☆		カミキリムシ 類	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前	3回	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	いちじく	クワカミキリ	園芸用キンチョールE	—	収穫前日	2回	ノズル差込 噴射
		イチジクヒトリ モドキ	ベニカS乳剤	300倍	前日まで	2回	散布(200～ 700mL/㎡)
		ハダニ類	アーリーセーフ	600倍	収穫前日	—	散布(200～ 700mL/㎡)
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(200～ 700L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	1回	散布(200～ 700L/10a)
		疫病	STダコニール1000	2000倍	収穫前日	2回	散布(200～ 700L/10a)
		株枯病	GFベンレート水和剤	1000倍	収穫30日前	5回	株元灌注(1 ～10L/樹)
☆		黒かび病	STダコニール1000	2000倍	収穫前日	2回	散布(200～ 700L/10a)
		黒葉枯病	STダコニール1000	2000倍	収穫前日	2回	散布(200～ 700L/10a)
		切り口及び傷口の ゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直 後、及び病枝切 除後	3回/他14回 (塗布3回、灌注6回、散布5回)	塗布
☆	いぬつげ	枝枯病	GFベンレート水和剤	2000倍	発病初期	6回	散布(200～ 700mL/㎡)
	いぬまき	アブラムシ類	モスピラン液剤	500倍	発生初期	5回/他5回(樹幹注入1回)	散布(200～ 700mL/㎡)
	稲	ウンカ類	ベストガード粒剤	3～4kg/10a	収穫14日前	4回	散布
		カメムシ類	ベストガード粒剤	4kg/10a	収穫14日前	4回	散布
		ツマグロヨコ バイ	ベストガード粒剤	3～4kg/10a	収穫14日前	4回	散布
	稲(箱育苗)	苗立枯病(リ ゾープス菌)	STダコニール1000	500～1000倍	は種時～緑化期但 し、は種14日後まで	2回	灌注(500mL/ 育苗箱5L)
			STダコニール1000	1000～2000倍	は種時～緑化期但 し、は種14日後まで	2回	灌注(1L/育 苗箱5L)
	いんげんまめ	アザミウマ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫14日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		コガネムシ類 (成虫)	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		インゲンマメ ゾウムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫14日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハモグリバエ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		マメシクイ ガ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		角斑病	GFベンレート水和剤	1000～1500倍	収穫7日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		菌核病	GFベンレート水和剤	1000～2000倍	収穫7日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		炭そ病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600～1200倍	収穫30日前	2回/3回(種子粉衣1回、は種後2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	根株養成期 (収穫150日前)	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	根株養成期 (収穫150日前)	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
	うど	菌核病	GFベンレート水和剤	500倍	種株冷蔵保存前	1回	浸漬(30分)
		黒斑病	STダコニール1000	1000倍	根株養成期 (収穫200日前)	3回	散布(100～ 300L/10a)
☆	うめ	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～ 700mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回	散布
			モスピラン液剤	500倍	収穫前日	3回	散布(200～ 700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	うめ	アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～ 700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	2回	散布(200～ 700mL/㎡)
		カイガラムシ 類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～ 700mL/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～ 700mL/㎡)
☆		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～ 700mL/㎡)
		アメリカ シロヒトリ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	2回	散布(200～ 700mL/㎡)
☆		ケムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～ 700mL/㎡)
		ハマキムシ 類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～ 700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	2回	散布(200～ 700mL/㎡)
		黒星病	GFベンレート水和剤	3000倍	収穫7日前	1回	散布(200～ 700mL/㎡)
☆		すす斑病	GFベンレート水和剤	3000倍	収穫7日前	1回	散布(200～ 700mL/㎡)
☆	えごま(種子)	ベニフキノメ イガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
	えだまめ	アブラムシ類	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前	3回	散布
			モスピラン粒剤	3kg/10a	は種時	1回/他4回 (は種時1回、定植時土壌混和1回、散布3回)	播溝土壌 混和
			モスピラン粒剤	1g/株(但し、 30kg/10aまで)	は種時	1回/他4回 (は種時1回、定植時土壌混和1回、散布3回)	植穴土壌 混和
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫21日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前	3回	散布
		フタスジヒメ ハムシ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハスモン ヨトウ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫21日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	収穫21日前	3回	生育期株元 散布
		菌核病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫30日前	3回/他6回 (種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		紫斑病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫30日前	3回/他6回 (種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		立枯病	GFベンレート水和剤	1000倍	発芽14日前	2回/他6回 (種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	灌注(3L/㎡)
☆	エンサイ	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期 但し収 穫14日前まで	2回以内	株元散布
☆	エンダイブ		ネキリバイト	3g/㎡	定植時 但し収穫 21日前まで	2回以内	株元散布
	えんどうまめ	アザミウマ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
		カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
		コガネムシ類 (成虫)	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ダイズサヤタ マバエ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハモグリバエ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ウリノメイガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
		シロイチモジ マダラメイガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
		マメシロイ ガ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	えんどうまめ	マメシクイガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		マメヒメサヤムシガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		褐紋病	GFベンレート水和剤	1000～2000倍	収穫14日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/㎡)
		菌核病	GFベンレート水和剤	1000～2000倍	収穫14日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/㎡)
	おうとう	カメムシ類	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	2回	散布
	オクラ	アブラムシ類	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日まで	3回	散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫開始7日前	1回	散布(100～300mL/㎡)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	は種時～生育初期	3回以内	株元散布
		ハダニ類	兼商モレスタン水和剤	3000倍	収穫前日	3回	散布
		ミドリヨコバイ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫開始7日前	1回	散布(100～300mL/㎡)
		ハスモンヨトウ	ベニカS乳剤	200倍	前日まで	3回	散布(100～300mL/㎡)
		うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	3000倍	収穫前日	3回	散布
☆		葉すす病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～300L/10a)
		オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	2回
	ベニカベジフルスプレー			原液	収穫前日まで	2回	散布
	家庭園芸用 スミチオン乳剤			50倍	収穫21日前	3回	樹幹散布
	切り口及び傷口のゆ合促進		トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回/他5回(塗布3回、散布2回)	塗布
	オリーブ(葉)	切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回	塗布
	オンシジウム	カイガラムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
	カーネーション	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		コナガ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
		ハダニ類	兼商モレスタン水和剤	1000倍	—	—	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			ダニ太郎	1000倍	開花前	1回	散布(100～300L/10a)
		クロウリハムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
		ハスモンヨトウ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期	—	散布(100～300mL/㎡)
		ヨトウムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
		うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	2000～3000倍	—	—	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		さび病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
		炭そ病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	カーネーション	灰色かび病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
		斑点病	STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～300L/10a)
		べと病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
	ガーベラ	アブラムシ類	オルトランDX粒剤	2g/株 (40g/㎡まで)	発生初期	4回/アセフェ5回、クロ6回	生育期株元 処理
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	6回	散布
			ベニカベジフルスプレー	原液	—	6回	散布
		コナジラミ類	ベニカJスプレー	原液	発生初期	6回	散布
		ハモグリバエ 類	オルトランDX粒剤	2g/株 (40g/㎡まで)	発生初期	4回/アセフェ5回、クロ6回	生育期株元 処理
		ゴマダラ カミキリ	園芸用キンチョールE	—	—	—	ノズル差込 噴射
	かき	アザミウマ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		カキクダ アザミウマ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
		チャノキイロ アザミウマ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
		イラガ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫30日前	4回	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(樹幹処理は2回)	散布(200～700mL/㎡)
		オオワタコナ カイガラムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(樹幹処理は2回)	散布(200～700mL/㎡)
		カイガラムシ 類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫30日前	4回	散布(200～700mL/㎡)
		コナカイガラ ムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		フジコナカイ ガラムシ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(樹幹処理は2回)	散布(200～700mL/㎡)
		カキノヘタム シガ	ベニカS乳剤	200～300倍	収穫7日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫7日前	3回	散布
			モスピラン液剤	500倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(樹幹処理は2回)	散布(200～700mL/㎡)
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(樹幹処理は2回)	散布(200～700mL/㎡)
		ハダニ類	ダニ太郎	1000～1500倍	収穫7日前	1回	散布(200～700L/10a)
		ハマキムシ 類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫30日前	4回	散布(200～700mL/㎡)
		カキホソガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(樹幹処理は2回)	散布(200～700mL/㎡)
		ミノガ類 若齢幼虫	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(樹幹処理は2回)	散布(200～700mL/㎡)
		カキノヒメヨ コバイ	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		うどんこ病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	6回	散布(200～700mL/㎡)
			STサプロール乳剤	1000倍	収穫14日前	4回	散布(200～700mL/㎡)
			兼商モレスタン水和剤	1500倍	収穫30日前	3回	散布
		切り口の 枯込防止	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時	3回/他10回 (塗布3回、休眠期散布1回、生育期散布6)	塗布
☆		すす点病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	6回	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	1000倍	収穫7日前	5回	散布(200～700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	かき	炭そ病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	収穫45日前	2回	散布
			サンケイ オーソサイド水和剤80	1000倍	収穫7日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	6回	散布(200～700mL/㎡)
		切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回/他10回 (塗布3回、休眠期散布1回、生育期散布6)	塗布
		落葉病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	収穫45日前	2回	散布
			サンケイ オーソサイド水和剤80	1000倍	収穫7日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	6回	散布(200～700mL/㎡)
	カトレア	アブラムシ類	ベニカJスプレー	原液	発生初期	6回	散布
			ベニカベジフルスプレー	原液	—	6回	散布
	かなめもち	イラガ類	ベニカJスプレー	原液	発生初期	6回	散布
		ケムシ類	ベニカJスプレー	原液	発生初期	6回	散布
		ごま色斑点病	ベニカXスプレー	—	—	—	散布
☆	かぶ	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内/他4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回以内/他4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	4g/㎡	収穫21日前	1回	株元散布
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	収穫3日前まで	4回以内	株元散布
☆		根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌混和
	かぼちゃ	アザミウマ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		アブラムシ類	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前	3回/クワ4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	散布
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他3回(は種時・定植時土壌混和1回、散布・定植後株元散布2回)	植穴土壌混和
			モスピラン粒剤	1g/株	は種時	1回/他3回(は種時・定植時土壌混和1回、散布・定植後株元散布2回)	播溝土壌混和
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	3日前まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回/クワ4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		タネバエ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
		ウリハムシ 幼虫	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300L/10a)
			兼商モレスタン水和剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回 (種子粉衣1回)	散布(100～300L/a)
		炭そ病	サンケイ オーソサイド水和剤80	400～800倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	かぼちゃ	苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回/他5回(種子粉衣1回)	種子粉衣
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	5回/他5回(種子粉衣1回)	全面散布 (2L/㎡)
		白斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～ 300mL/㎡)
	からしな(種子)	アオムシ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000～2000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
		コナガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000～2000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
		ヨトウムシ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000～2000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
	カリフラワー	アオムシ	STアクテリック乳剤	500～1000倍	収穫7日前	4回	散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		アザミウマ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	STアクテリック乳剤	500倍	収穫7日前	4回	散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壤混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	2回/他2回(粒剤生育期処理1回)	土壤混和
		コナガ	STアクテリック乳剤	500～1000倍	収穫7日前	4回	散布
			ベニカS乳剤	200倍	収穫3日前まで	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	2回/他2回(粒剤生育期処理1回)	土壤混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		ヨトウムシ	STアクテリック乳剤	500倍	収穫7日前	4回	散布
☆		根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	15～20kg/10a	は種又は定植前	1回	作条土壤 混和
☆			石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壤 混和
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前 (出蕾前)	3回/他3回	散布(100～ 300L/10a)
	かりん	黒点病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(200～ 700L/10a)
		ごま色斑点 病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(200～ 700L/10a)
		白かび斑点 病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(200～ 700L/10a)
		切り口及び傷 口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直 後、及び病枝切 除後	3回/他9回(塗布3回、散布6回)	塗布
	かんぎつ	アザミウマ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		アブラムシ類	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日まで	3回/クロ4回(樹幹散布3回、散布3回)	散布
			モスピラン液剤	500倍	収穫14日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		アゲハ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		アカマル カイガラムシ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		コナカイガラ ムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		ツノロウムシ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		ナシマル カイガラムシ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		ケシキスイ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～ 700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	かんきつ	ゴマダラ カミキリ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	20倍	収穫150日前	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	樹幹散布 (100mL/樹)
			園芸用キンチョールE	—	収穫14日前	6回	ノズル差込 噴射
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		ミカンキジラ ミ	アーリーセーフ	600倍	収穫前日	—	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	40倍	収穫150日前	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	樹幹散布 (200mL/樹)
		コアオハナム グリ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		コナジラミ類	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		ミカンバエ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		ミカンサビ ダニ	ダニ太郎	1000～1500倍	収穫7日前	1回	散布
		ミカンハダニ	ダニ太郎	1000～1500倍	収穫7日前	1回	散布
		カネタタキ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		ミカンハモグ リガ	ベニカS乳剤	200～400倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	20倍	収穫150日前	3回/クロ6回(樹幹散布3回、散布3回)	樹幹散布 (100mL/樹)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日まで	3回/クロ4回(樹幹散布3回、散布3回)	散布
		かいよう病	サンボルドー	800倍	—	—	散布
		切り口の 枯込防止	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時	3回/他8回 (塗布3回、散布・空散・ヘリ散合計5回)	塗布
		幹腐病	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時	3回/他8回 (塗布3回、散布・空散・ヘリ散合計5回)	塗布
		そうか病	サンボルドー	300～600倍	—	—	散布
		切り口及び傷 口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直 後、及び病枝切 除後	3回/他8回 (塗布3回、散布・空散・ヘリ散合計5回)	塗布
☆	かんきつ(苗木)	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	20倍	春芽・夏芽又は 秋芽の発生前	3回以内	樹幹散布(10 ～100L/樹)
☆		アゲハ類	ベニカ水溶剤	20倍	春芽・夏芽又は 秋芽の発生前	3回以内	樹幹散布(10 ～100L/樹)
☆		ゴマダラ カミキリ	ベニカ水溶剤	20倍	春芽・夏芽又は 秋芽の発生前	3回以内	樹幹散布(10 ～100L/樹)
☆		ミカンハモグ リガ	ベニカ水溶剤	20倍	春芽・夏芽又は 秋芽の発生前	3回以内	樹幹散布(10 ～100L/樹)
			モスピラン粒剤	10～20g/樹	育苗期	1回	株元散布
	かんきつ(夏みかんを除く)	アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
		カイガラムシ 類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
		ハマキムシ 類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
	かんきつ(みかんを除く)	ミカンサビ ダニ	バロックフロアブル	2000倍	収穫14日前	2回	散布(200～700L/10a)
		ミカンハダニ	バロックフロアブル	2000～3000倍	収穫14日前	2回	散布(200～700L/10a)
		黒点病	サンケイ エムダイファー水和剤	600～800	収穫90日前	2回	散布
		小黒点病	サンケイ エムダイファー水和剤	600～800	収穫90日前	2回	散布
		貯蔵病害 (青かび病)	家庭園芸用 トップジンMゾル	2000倍	収穫前日	5回/他8回(塗布3回、散布5回)	散布(200～700L/10a)
			GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	かんきつ(みかんを除く)	貯蔵病害 (黒斑病)	GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)
		貯蔵病害 (軸腐病)	家庭園芸用 トップジンMゾル	2000倍	収穫前日	5回/他8回(塗布3回、散布5回)	散布(200～700L/10a)
			GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)
		貯蔵病害 (炭そ病)	GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)
		貯蔵病害 (緑かび病)	家庭園芸用 トップジンMゾル	2000倍	収穫前日	5回/他8回(塗布3回、散布5回)	散布(200～700L/10a)
			GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)
	キウイフルーツ	キイロマイコ ガ	ベニカS乳剤	200～300倍	収穫7日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
☆		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
☆		キウイヒメヨ コバイ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
		すす斑病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
			STダコニール1000	500	収穫60日前	7回	散布(200～700L/10a)
		果実軟腐病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
			STダコニール1000	500～1000	収穫60日前	7回	散布(200～700L/10a)
		切り口及び傷口の癒合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回/他8回(塗布3回、散布5回)	塗布
	ききょう	ヨトウムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
☆	きく	アザミウマ類	ベニカ水溶剤	4000倍	発生初期	4回以内	生育期株元 灌注(1L/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000倍	発生初期	4回以内	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
			モスピラン粒剤	1g/株(但し、 30kg/10aまで)	生育初期	1回/他5回(粒剤は1回)	株元散布
		ミカンキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	2g/株	発生初期	4回	生育期株元 散布
			モスピラン粒剤	3～6g/㎡	定植時	1回/他5回(粒剤は1回)	植溝土壌 混和
		ミナミキイロ アザミウマ	モスピラントップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
		アブラムシ類	ベストガード粒剤	1～2g/株	発生初期	4回	生育期株元 散布
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
			ベニカX乳剤	500倍	—	5回/ペル6回、ミク5回	散布
☆			ベニカ水溶剤	4000倍	発生初期	4回以内	生育期株元 灌注(1L/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	発生初期	4回以内	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラントップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
			モスピラン液剤	500倍	発生初期	5回/他5回(粒剤は1回)	散布(100～300mL/㎡)
			園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
			GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(100～300mL/㎡)
			GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回(粒剤1回)、 フェン6回、チオ5回	散布
☆			オルチオン乳剤	200～400倍	発生初期	5回/アセ5回/MEP6回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	きく	アブラムシ類	ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株(但し、30kg/10aまで)	生育初期	1回/他5回(粒剤は1回)	株元散布
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
		カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	発生初期	4回以内	散布(100～300mL/㎡)
		オオタバコガ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
		ネキリムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
		ナミハダニ	ダニ太郎	1000倍	開花前	1回	散布(100～300L/10a)
		ハダニ類	GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回(粒剤1回)、 フェン6回、チオ5回	散布
			テルスタースプレー	原液	発生初期	—	散布
☆		ナモグリバエ	ベニカ水溶剤	4000倍	発生初期	4回以内	生育期株元 灌注(1L/㎡)
☆		ハモグリバエ 類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	発生初期	4回以内	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	1g/株(但し、30kg/10aまで)	定植時	1回/他5回(粒剤は1回)	植穴土壌 混和
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
		マメハモグリ バエ	ベストガード粒剤	2g/株	発生初期	4回	生育期株元 散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
		ハスモン ヨトウ	STセンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期	—	散布(100～300mL/㎡)
		ヨトウムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	発生初期	6回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
		うどんこ病	ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回ミクロ5回	散布
		褐斑病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
			GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回(粒剤1回)、 フェン6回、チオ5回	散布
			STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～300L/10a)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	—	5回	散布(100～300L/10a)
		黒斑病	モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～300L/10a)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	—	5回	散布(100～300L/10a)
		さび病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
		白さび病	GFベンレート水和剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
			STサブロー乳剤	1000～1500倍	—	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			ベニカXスプレー	—	—	—	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	きく	白さび病	ベニカX乳剤	500倍	—	5回/ベル6回、ミク5回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		炭そ病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
		灰色かび病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
		べと病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
	キャベツ	アオムシ	STアクテリック乳剤	500～1000倍	収穫7日前	4回	散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
			パイベニカVスプレー	原液	収穫7日前	5回	散布
			ベニカS乳剤	200倍	収穫3日前まで	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	2回/クロ3回 (定植時1回、定植後散布2回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	2回/クロ3回 (定植時1回、定植後散布2回)	散布
			モスピラン液剤	250倍	収穫7日前	5回/他6回 (粒剤株元散布・土壌混和1回、散布5回)	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	植穴土壌混和
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植前日～定植当日	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～2000倍	収穫30日前	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	植穴処理
		アザミウマ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
☆			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫30日前	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	散布(100～300mL/㎡)
		アブラムシ類	パイベニカVスプレー	原液	収穫7日前	5回	散布
			STアクテリック乳剤	500倍	収穫7日前	4回	散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	2回/クロ3回 (定植時1回、定植後散布2回)	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植前日～定植当日	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	株元散布
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	植穴土壌混和
			モスピラン粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～2000倍	収穫30日前	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	植穴処理
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	育苗期	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	散布
☆		カタツムリ類	ナメナイト	3kg/10a	収穫14日前まで	2回/他6回 (散布、株元散布は合計3回(株元散布は2回))	株元散布
		タマナギンウ ワバ	ベニカS乳剤	200倍	収穫3日前まで	5回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	収穫30日前	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	散布(100～300mL/㎡)
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	2回	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	2回	土壌混和
		コナガ	STアクテリック乳剤	500～1000倍	収穫7日前	4回	散布
			パイベニカVスプレー	原液	収穫7日前	5回	散布
			ベニカS乳剤	200倍	収穫3日前まで	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	2回/クロ3回 (定植時1回、定植後散布2回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	2回/クロ3回 (定植時1回、定植後散布2回)	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	キャベツ	コナガ	モスピラン粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	植穴土壌 混和
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～2000倍	収穫30日前	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	植穴処理
		ダンゴムシ	サンケイ デナボン5%ベイト	3～4g/㎡	収穫14日前	3回	株元散布
☆		ナメクジ類	ナメナイト	3kg/10a	収穫14日前まで	2回/他6回 (散布、株元散布は合計3回(株元散布は2回))	株元散布
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	2回	土壌混和
			サンケイ デナボン5%ベイト	3～6g/㎡	収穫14日前	3回	株元散布
☆			ネキリベイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		コオロギ	サンケイ デナボン5%ベイト	3～4g/㎡	収穫14日前	3回	株元散布
		カブラハバチ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハイマダラノ メイガ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	株元散布
		ハスモン ヨトウ	サンケイ デナボン5%ベイト	3～6g/㎡	収穫14日前	3回	株元散布
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他6回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布5回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	収穫30日前	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		ヨトウムシ	STアクテリック乳剤	500倍	収穫7日前	4回	散布
			ベニカS乳剤	200倍	収穫3日前まで	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	収穫30日前	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回/アセフェ2回 (定植時処理1回、定植後散布1回)	植穴処理
		菌核病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫7日前	6回/他7回(種子粉衣1回、は種後6回)	散布(100～ 300mL/㎡)
☆			石原フロンサイド粉剤	40kg/10a	は種又は定植前	2回(苗床1回、本圃1回)	全面土壌 混和
☆		根朽病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫7日前	6回/他7回(種子粉衣1回、は種後6回)	散布(100～ 300mL/㎡)
☆			STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	2回/他3回 (は種・定植前混和1回、散布・エアゾル剤2回)	散布(100～ 300L/10a)
☆		苗立枯病(リ ゾクトニア菌)	石原フロンサイド粉剤	40kg/10a	は種又は定植前	2回(苗床1回、本圃1回)	全面土壌 混和
☆		根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	15～20kg/10a	は種又は定植前	2回(苗床1回、本圃1回)	作条土壌 混和
☆			石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	2回(苗床1回、本圃1回)	全面土壌 混和
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	2回/他3回 (は種・定植前混和1回、散布・エアゾル剤2回)	散布(100～ 300L/10a)
			サンボルドー	300～600倍	—	—	散布
	きゅうり	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植溝散布・ 植穴処理
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ミナミキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和 は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	パイベニカVスプレー	原液	収穫前日まで	5回	散布
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土 壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布 は合計3回)、フェン5回、メバニ4回	散布
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日まで	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混 和合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布
☆			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ5回(粒剤定植時までの処理1 回、2%粒剤の定植後株元散布1回、散布・ くん煙・1%粒剤の株元散布合計3回)/チ オ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	きゅうり	アブラムシ類	モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植時	1回/他5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤の定植後株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤の株元散布は合計3回)	株元散布
☆			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植後、ただし収穫30日前	1回/他5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤の定植後株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤の株元散布は合計3回)	株元散布
☆			モスピラン液剤	500倍	収穫前日	3回/他5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤の定植後の株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤の株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
☆			GFモストップジンRスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤定植後株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤株元散布3回)、フェン5回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/㎡)
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	株元処理
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	5回以内	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	5回	散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植溝散布・ 植穴処理
			家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
		ケラ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
		コガネムシ類(幼虫)	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
		オンシツコナジラミ	パイベニカVスプレー	原液	収穫前日まで	5回	散布
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	5回以内	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植溝散布・ 植穴処理
		コナジラミ類	オルトランDX粒剤	2g/株	定植時	1回/アセフェ1回、クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布・定植後株元散布合計3回)	植穴処理 土壌混和
			兼商モレスタン水和剤	2000倍	収穫前日	3回	散布
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)、フェン5回、メバニ4回	散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日まで	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布
☆			モスピラントップジンMスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤の定植後株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤の株元散布合計3回)/チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
		タネバエ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	3回以内	株元散布
☆		ハダニ類	GFモストップジンRスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤定植後株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤株元散布3回)、フェン5回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～300L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	1回	散布(100～350L/10a)
☆		ハダニ類	ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	5回以内	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/㎡)
		ウリハムシ	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日まで	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布
		ウリハムシ 幼虫	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
☆			GFモストップジンR スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤定植後株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤株元散布3回)、フェン5回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			STサブロール乳剤	1000～2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	8回/他10回 (灌注2回、散布・くん煙・エアゾル計8回)	散布(100～300L/10a)
			兼商モレスタン水和剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布
		うどんこ病	パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～300L/a)
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)、フェン5回、メバニ4回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	5回	散布
☆			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤の定植後株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤の株元散布合計3回)/チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	8回/他10回 (灌注2回、散布・くん煙・エアゾル計8回)	散布(100～300L/10a)
		褐斑病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600～800倍	収穫前日	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他4回(種子1回、は種後3回)	散布(100～300mL/㎡)
		菌核病	家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	収穫前日	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	散布(100～300L/10a)
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他4回(種子1回、は種後3回)	散布(100～300mL/㎡)
		黒星病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	8回/他10回 (灌注2回、散布・くん煙・エアゾル計8回)	散布(100～300L/10a)
☆			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ5回(粒剤定植時までの処理1回、2%粒剤の定植後株元散布1回、散布・くん煙・1%粒剤の株元散布合計3回)/チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他4回(種子1回、は種後3回)	散布(100～300mL/㎡)
		炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	8回/他10回 (灌注2回、散布・くん煙・エアゾル計8回)	散布(100～300L/10a)
			STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(200～700L/10a)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	収穫前日	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	散布(100～300L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600～800倍	収穫前日	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
		つる枯病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他4回(種子1回、は種後3回)	散布(100～300mL/㎡)
			トップジンMペースト	原液	発病初期	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	塗布
		つる割病	GFベンレート水和剤	1000倍	定植前～ 定植1ヵ月後	3回/他4回(種子1回、は種後3回)	灌注(150～300mL/株)
☆		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回/他5回(種子粉衣1回)	種子粉衣
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	5回/他5回(種子粉衣1回)	全面散布 (2L/㎡)
		苗立枯病(リ ゾクトニア菌)	STダコニール1000	1000倍	は種時又は活着後 但し定植14日後まで	2回/他10回 (灌注2回、散布・くん煙・エアゾル計8回)	灌注(3L/㎡)
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他4回(種子1回、は種後3回)	散布(100～300mL/㎡)
		灰色かび病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	8回/他10回 (灌注2回、散布・くん煙・エアゾル計8回)	散布(100～300L/10a)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	きゅうり	斑点細菌病	サンボルドー	500倍	—	—	散布
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	8回/他10回 (灌注2回、散布・くん煙・エアゾル計8回)	散布(100～300L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫前日	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
			サンボルドー	300～600倍	—	—	散布
		モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	原液	管理作業時	—	手指、器具を 薬液に浸漬 し、濡れた状 態で使用
	きり	腐らん病	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直後	5回	塗布
	きんせんか	アブラムシ類	ベストガード粒剤	1～2g/株	発生初期	4回	生育期株元 散布
		マメハモグリ バエ	ベストガード粒剤	2g/株	発生初期	4回	生育期株元 散布
	茎ブロッコリー	アオムシ	ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前まで	3回	散布(100～300mL/㎡)
	くちなし	オオスカシバ	GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射 (30cm離す)
		ケムシ類	ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射 (30cm離す)
	グラジオラス	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	植付時	1回/アセフェ5回	浸漬(10分)
	くり	クリシギ ゾウムシ	ベニカS乳剤	200倍	収穫14日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
		クリタマバチ	ベニカS乳剤	100～200倍	収穫14日前 (羽化脱出期)	5回	散布(200～700mL/㎡)
		実炭そ病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	裂果前 但し、 収穫14日前	4回	散布(200～700mL/㎡)
		胴枯病	トップジンMペースト	原液	病患部削り取り 直後	3回	塗布
		切り口及び傷 口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直 後、及び病枝切 除後	3回	塗布
	クロトン	ミカンコナカ イガラムシ	オルトランDX粒剤	2g/株 (40g/㎡まで)	発生初期	4回/アセフェ5回/クロ6回	生育期株元 処理
	くろまつ	マツノマダラ カミキリ成虫	ベニカマツケア	60倍	成虫の発生直前 から発生初期	4回	散布(3L/本) 樹高10m
	桑	ハダニ類	兼商モレスタン水和剤	1000～2000倍	—	—	散布
		裏うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	2000倍	—	—	散布
		胴枯病	GFベンレート水和剤	1000倍	摘採9日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
		輪斑病	GFベンレート水和剤	2000倍	摘採9日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
☆	げっきつ	ミカンキジラ ミ	アーリーセーフ	600倍	—	—	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	40倍	生育期	6回以内	樹幹散布 (200mL/樹)
		ハダニ類	ダニ太郎	1000倍	発生初期	1回	散布(100～300L/10a)
	コスモス	茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		そうか病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
	こでまり	カイガラムシ 類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
		うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	2000～3000倍	—	—	散布
☆	ごぼう	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	は種時～ 生育初期	5回以内	株元散布
		黒斑病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫14日前	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～300mL/㎡)
	ごま	アブラムシ類	ベニカマイルドスプレー	原液	収穫前日	—	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	こまつな	アオムシ	パイベニカVスプレー	原液	収穫7日前	2回	散布
		アブラムシ類	パイベニカVスプレー	原液	収穫7日前	2回	散布
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内/他4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回以内/他4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布
			STアクテリック乳剤	1000倍	収穫7日前	1回	散布
☆		根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	30kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和
	こんにゃく	ワタアブラムシ	モスピラン粒剤	3kg/10a	培土時(出芽期)	1回	株元土壌混和
		乾腐病	GFベンレート水和剤	50～100倍	植付前	1回	種芋芽基部散布
		腐敗病	ヤシマストマイ液剤20	1000倍	収穫30日前	6回/他6回(種いもへは1回)	散布
	さかき	ハマキムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
	さくら	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(200～700mL/㎡)
		アブラムシ類	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		カイガラムシ類	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		アメリカシロヒトリ	GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(200～700mL/㎡)
			スミソン乳剤	1000～2000倍	—	6回	散布
			テルスタースプレー	原液	発生初期	—	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500～2000倍	発生初期	5回	散布(200～700mL/㎡)
		ケムシ類	園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		モンクロシャチホコ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	発生初期	5回	散布(200～700mL/㎡)
		てんぐ巢病	トップジンMペースト	原液	病枝切除後	5回	塗布
	さくらんぼ(おうとう)	アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	5回/他5回(休眠期50倍散布1回)	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫21日前	2回/他2回 (樹幹処理、灌注処理は合計1回)	散布(200～700mL/㎡)
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	2回	散布
		オウトウショウジョウバエ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)
		ハダニ類	ダニ太郎	1000～1500倍	収穫14日前	1回	散布(200～700L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫14日前	1回	散布(200～700L/10a)
		褐色せん孔病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫14日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	3000倍	収穫3日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
		せん孔病	家庭園芸用 トップジンMゾル	1500倍	収穫14日前	3回/他6回(塗布3回、散布3回)	散布(200～700L/10a)
		炭そ病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫14日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
		灰星病	GFベンレート水和剤	3000倍	収穫3日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫14日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫14日前	2回	散布(200～700L/a)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	さくらんぼ(おうとう)	切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回/他6回(塗布3回、散布3回)	塗布
	さざんか	カイガラムシ類	ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
		ケムシ類	ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
		チャドクガ	ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカX乳剤	500倍	—	6回	散布
	さつまいも(かんしょ)	アブラムシ類	家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
		イモコガ	ベニカS乳剤	300倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
		ケラ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	植付前	1回/他3回(マイクロカプセル剤植付前処理1回・散布2回、粒剤散布2回)	土壌混和
		コガネムシ類(幼虫)	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	植付前、収穫30日前	3回/他3回(マイクロカプセル剤植付前処理1回・散布2回、粒剤散布2回)	土壌混和
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	植付前	1回/他3回(マイクロカプセル剤植付前処理1回・散布2回、粒剤散布2回)	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		ハダニ類	ダニ太郎	1000倍	収穫3日前	1回	散布(100～300L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	2回	散布(100～300L/10a)
		ヨツモンカメノコハムシ	家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
		黒斑病	GFベンレート水和剤	500～1000	植付前	1回	浸漬(20～30分)
			GFベンレート水和剤	種いも重の0.4%	植付前	1回	粉衣
		つる割病	GFベンレート水和剤	500～1000倍	植付前	1回	浸漬(20～30分)
☆			GFベンレート水和剤	500～1000倍	挿苗時	1回	株元灌注(20～40mL/株)
☆	さといも	アブラムシ類	モスピラン粒剤	3～6g/㎡	植付時	1回	植溝土壌混和
		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		ハダニ類	ダニ太郎	1000倍	収穫3日前	1回	散布(100～300L/10a)
		ハスモンヨトウ	ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
	さといも(葉柄)	乾腐病	GFベンレート水和剤	種いも重の0.4%	催芽前	1回	種いも粉衣
	さやいんげん	菌核病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫開始14日前	3回/他6回(種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
		立枯病	GFベンレート水和剤	1000倍	発芽14日前	2回/他6回(種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	灌注(3L/㎡)
	さやえんどう	ウラナミシジミ	ベニカS乳剤	300倍	前日まで	3回	散布(100～300mL/㎡)
		ウリノメイガ	STゼンターリ顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
		ヨトウムシ類	ベニカS乳剤	300倍	前日まで	3回	散布(100～300mL/㎡)
		うどんこ病	STサブロール乳剤	1500倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/㎡)
		菌核病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	3回/他6回(種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
		立枯病	GFベンレート水和剤	1000倍	発芽14日前	2回/他6回(種子粉衣1回、灌注2回、散布3回)	灌注(3L/㎡)
☆	さるすべり	アブラムシ類	ベニカX乳剤	500倍	—	6回	散布
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射(30cm離す)
☆		カイガラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	さるすべり	サルスベリフクロカイガラムシ	ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
			ベニカX乳剤	500倍	—	6回	散布
☆		ケムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回/フェン6回	数回断続噴射 (30cm離す)
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
		うどんこ病	GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	—	2回	散布(100～ 300L/a)
			ベニカX乳剤	500倍	—	6回	散布
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
☆			ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
	さるなし	キイロマイコ ガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	2回	散布(200～ 700mL/m ²)
	サルビア	アブラムシ類	ベニカXスプレー	—	—	—	散布
		タバココナジ ラミ類(シル バーリーフコ ナジラミ含む)	ベニカXスプレー	—	—	—	散布
		オンブバッタ	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	発生初期	6回	散布(100～ 300mL/m ²)
		うどんこ病	ベニカXスプレー	—	—	—	散布
	さんごじゅ	ケムシ類	ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射 (30cm離す)
		サンゴジュ ハムシ	GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(200～ 700mL/m ²)
			ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射 (30cm離す)
			ベニカマツケア	250倍	—	4回	散布(200～ 700mL/m ²)
		ワタノメイガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～ 700mL/m ²)
☆	さんしょう(果実)	アザミウマ類	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫前日	2回	散布(200～ 700mL/m ²)
	さんしょう(葉)	ハダニ類	ダニ太郎	1500倍	収穫14日前	1回	散布(100～ 300L/10a)
	しいたけ	シイタケオオ ヒロズコガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	害虫発生初期 但し、しいたけ発 生の14日前まで	—	散布(100～ 300mL/m ²)
			STゼンターリ 顆粒水和剤	200倍	種菌接種前	—	形成種菌の ふたに塗布 (100～300 mL/m ²)
	しきみ	クスアナアキ ゾウムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～ 700mL/m ²)
	シクラメン	萎ちょう病	GFベンレート水和剤	500～1000倍	—	3回	灌注(50～ 100mL/鉢)
	ししとう	ミナミキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
		アブラムシ類	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和合計1回、散布3回)	株元処理
		コナジラミ類	ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和合計1回、散布3回)	株元処理
☆		ハダニ類	ベニカR乳剤	200倍	前日まで	3回以内	散布(100～ 300mL/m ²)
	しそ		兼商モレスタン水和剤	3000倍	収穫10日前	3回	散布
		ハスモン ヨトウ	ベニカS乳剤	400倍	収穫5日前	2回	散布(100～ 300mL/m ²)
		斑点病 (株枯症)	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	株元散布 (150L/10a)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	しそ(花穂)	菌核病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫21日前	2回/他3回(種子粉衣1回、は種後2回)	散布(100～300mL/㎡)
	シネリリア	シンクイムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
		褐斑病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
	芝	ケラ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布 (1～2L/㎡)
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	発生初期	6回	散布(3L/㎡)
		シバオサゾウムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	幼虫発生期	6回	散布(3L/㎡)
		シバオサゾウムシ成虫	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(2L/㎡)
		シバツツガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000～2000倍	発生初期	—	散布 (300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布 (1～2L/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	10g/㎡	発生初期	5回	全面散布
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	発生初期	6回	散布(0.3～2L/㎡)
		タマナヤガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期	—	散布 (300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(1～2L/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	5～10g/㎡	発生初期	5回	全面散布
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	発生初期	6回	散布(0.3～2L/㎡)
		アカフツツリガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期	—	散布(300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(1～2L/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	10g/㎡	発生初期	5回	全面散布
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	発生初期	6回	散布(0.3～2L/㎡)
		赤焼病	サンケイ オーソサイド水和剤80	300～800倍	発病初期	8回	散布 (1～2L/㎡)
		さび病	STサプロール乳剤	1000倍	発病初期	6回	散布 (1～2L/㎡)
		葉腐病(ブラウンパッチ)	サンケイ オーソサイド水和剤80	300～500倍	発病初期	8回	散布(0.5～2L/㎡)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	500～800倍	発病初期	8回	散布 (1～2L/㎡)
	芝(日本芝(こうらいしば))	根部生育促進	家庭園芸用 レンテミン液剤	500倍	春期～夏期 芝生育期	—	茎葉散布(500～1000L/10a)
	芝(日本芝)	フェアリーリング病	STサプロール乳剤	1000倍	発病初期	6回	散布 (10L/㎡)
	西洋芝 (バーミューダグラス)	ヘルミントスボリウム葉枯病	STダコニール1000	500～750	発病初期	8回	散布(1L/㎡)
		葉腐病(ブラウンパッチ)	STダコニール1000	500～750	発病初期	8回	散布(1L/㎡)
	西洋芝(ベントグラス)	根部生育促進	家庭園芸用 レンテミン液剤	500倍	春期～夏期 芝生育期	—	茎葉散布(500～1000L/10a)
		ヘルミントスボリウム葉枯病	STダコニール1000	500～750	発病初期	8回	散布(1L/㎡)
		葉腐病(ブラウンパッチ)	STダコニール1000	500～750	発病初期	8回	散布(1L/㎡)
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	発病初期	6回	散布(2L/㎡)
	芝(ベントグラス)	フェアリーリング病	STサプロール乳剤	1000倍	発病初期	6回	散布 (10L/㎡)
☆		藻類(雑草)	サンケイ オーソサイド水和剤80	1～1.67g/㎡ (薬量)	芝生育期 (藻類発生初期)	8回	散布 (0.5L/㎡)
☆	西洋芝(ベントグラス)	炭そ病	サンケイ オーソサイド水和剤80	300～500倍	発病初期	8回	散布 (0.5L/㎡)
	じゃがいも(ばれいしょ)	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫7日前	3回/クロ4回 (植付時土壌混和1回、植付後3回)	散布(100～300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	じゃがいも(ばれいしょ)	アブラムシ類	モスピラン粒剤	3～6g/㎡	植付時	1回/他4回(土壌混和1回、植付後3回)	植溝土壌混和
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	収穫30日前	2回/アセ3回(植付時1回、植付後2回)	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	植付時	1回/アセフェ3回 (植付時処理1回、植付後2回)	植溝散布
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回	散布(100～300mL/㎡)
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	植付前	1回/他3回(植付前土壌混和1回)	土壌混和
		テントウムシ ダマシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回/クロ4回 (植付時土壌混和1回、植付後3回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫7日前	3回/クロ4回 (植付時土壌混和1回、植付後3回)	散布
		テントウムシ ダマシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回	散布(100～300mL/㎡)
		テントウムシ ダマシ幼虫	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫30日前	2回/アセ3回(植付時1回、植付後2回)	散布(100～300mL/㎡)
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	植付前	1回/他3回(植付前土壌混和1回)	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	4回以内	株元散布
		ジャガイモガ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	収穫30日前	2回/7㌕3回(植付時1回、植付後2回)	散布(100～300mL/㎡)
		ヨトウムシ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫30日前	2回/7㌕3回(植付時1回、植付後2回)	散布(100～300mL/㎡)
		疫病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	収穫14日前	7回	散布
			STダコニール1000	500～1000	収穫7日前	5回	散布(100～300L/10a)
			サンボルドー	300～600倍	—	—	散布
		黒あし病	GFベンレート水和剤	種いも重の 0.3～0.4%	植付前	1回	粉衣
			ヤシマストマイ液剤20	100倍	植付前	1回/他5回(種いも処理1回)	浸漬 (5～10秒)
		そうか病	ヤシマストマイ液剤20	100倍	植付前	1回/他5回(種いも処理1回)	浸漬 (5～10秒)
☆			石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	植付前	1回/6回(種いも浸漬1回、植付前土壌混和1回、散布4回)	全面土壌混和
☆		粉状そうか病	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	植付前	1回/6回(種いも浸漬1回、植付前土壌混和1回、散布4回)	全面土壌混和
		夏疫病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	5回	散布(100～300L/10a)
	しゃくやく	根黒斑病	GFベンレート水和剤	20倍	植付前	2回	苗基部浸漬 (10分)
			GFベンレート水和剤	500倍	植付前	2回	苗基部浸漬 (16時間)
	しゃくやく(薬用)	うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(100～300L/10a)
		灰色かび病	GFベンレート水和剤	1000倍	収穫14日前	8回	散布(100～300mL/㎡)
	しゃりんばい	シンクイムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
	宿根アスター	ヨメナスジハ モグリバエ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
		斑点病	STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～300L/10a)
	宿根かすみそう	ハモグリバエ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
	宿根スターチス	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
		アブラムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
		ヨトウムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡	発生初期	5回	株元散布
	しゅんぎく	アブラムシ類	ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	植溝処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	9kg/10a	収穫3日前	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	生育期株元 処理
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内/他4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回以内/他4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	しゅんぎく	コナジラミ類	ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	植溝処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	9kg/10a	収穫3日前	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	生育期株元 処理
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	2回以内	株元散布
		マメハモグリ バエ	ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	植溝処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	9kg/10a	収穫3日前	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	生育期株元 処理
☆	しょうが	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	定植時～発芽期 但し 収穫120日 前まで	4回以内	株元散布
		アワノメイガ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫45日前	2回	散布(100～ 300mL/㎡)
		いもち病	GFベンレート水和剤	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～ 300mL/㎡)
		白星病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	5回	散布(100～ 300L/10a)
		根茎腐敗病	サンケイ オーソサイド水和剤80	塊茎重量の2%	植付前	1回	塊茎粉衣
		紋枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	5回	散布(100～ 300L/10a)
	食用ぎく	ミカンキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	2g/株	収穫前日	2回	生育期株元 散布
		マメハモグリ バエ	ベストガード粒剤	2g/株	収穫前日	2回	生育期株元 散布
		褐斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫30日前	4回	散布(100～ 300L/10a)
		白さび病	STサブロール乳剤	1000倍	収穫14日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	ベストガード粒剤	2g/株	収穫前日	2回	生育期株元 散布
	食用さくら	うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	3000倍	収穫21日前	3回	散布
	食用へちま	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
	食用ほおずき	タバコガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
☆	食用ミニバラ	ハダニ類	バロックフロアブル	2000倍	収穫3日前	1回	散布
	食用ゆり	葉枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	6回	散布(100～ 300L/10a)
	飼料作物	ピシウム・リゾ クトニア菌に よる病害(苗 立枯病等)	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回	種子粉衣
	しろうり	アザミウマ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		炭そ病	サンケイ オーソサイド水和剤80	400～800倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回/他5回(種子粉衣1回)	種子粉衣
☆			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	5回/他5回(種子粉衣1回)	全面散布 (2L/㎡)
		べと病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～ 300mL/㎡)
	しろな	アオムシ	ベニカS乳剤	200～400倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300mL/㎡)
	シンビジウム	アブラムシ類	モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
		炭そ病	家庭園芸用 トップジンM・グル	1000倍	発病初期	5回	散布(100～ 300L/10a)
			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
		モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	原液～3倍	株分け時	—	株の10分間 浸漬
			家庭園芸用 レンテミン液剤	原液	管理作業時	—	手指、器具を 薬液に浸漬し、濡れた状 態で使用
	すいか	アザミウマ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回	散布(100～ 300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法	
	すいか	ミナミキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和	
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クワ4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)	
		アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	6回	散布(100～300mL/㎡)	
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和	
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	株元処理	
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	収穫前日	4回以内	散布(100～300mL/㎡)	
			ベニカ水溶剤	4000倍	収穫前日	3回/クワ4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)	
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	3回/クワ4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	散布	
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回(定植時土壌混和1回、散布・くん煙・定植後株元散布3回)	植穴土壌混和	
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回	散布(100～300mL/㎡)	
			ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
			コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		コナジラミ類	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和	
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	株元処理	
		タネバエ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和	
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和	
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	6回	散布(100～300mL/㎡)	
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～300L/10a)	
			バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	2回	散布(100～350L/10a)	
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	収穫前日	4回以内	散布(100～300mL/㎡)	
		ウリハムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クワ4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)	
		ウリハムシ 幼虫	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和	
		うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	2000～4000倍	収穫3日前	5回	散布	
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～300L/a)	
		菌核病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～300mL/㎡)	
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～300mL/㎡)	
		炭そ病	STダコニール1000	700倍	収穫3日前	5回	散布(100～300L/10a)	
			サンケイ オーソサイド水和剤80	400～800倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)	
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)	
		つる枯病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～300mL/㎡)	
	STダコニール1000		700～1000倍	収穫3日前	5回	散布(100～300L/10a)		
	トップジンMペースト		原液	発病初期	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	塗布		
	苗立枯病		サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回/他5回(種子粉衣1回)	種子粉衣	
☆		サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	5回/他5回(種子粉衣1回)	全面散布 (2L/㎡)		
	べと病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)		
	モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	10倍	収穫前日	—	移植・各作業 (摘芽、誘引 等)直前散布 (100L/10a)		

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	すいか	モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	原液	管理作業時	—	手指、器具を 薬液に浸漬 し、濡れた状 態で使用
	すいぜんじな	アザミウマ類	ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	植溝処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	9kg/10a	収穫3日前	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	生育期株元 処理
		アブラムシ類	ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	植溝処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	9kg/10a	収穫3日前	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	生育期株元 処理
		マメハモグリ バエ	ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	植溝処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	9kg/10a	収穫3日前	1回/他2回 (定植時土壌混和1回、株元処理1回)	生育期株元 処理
	スイトピー	茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		腰折病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
	スターチス	コガネムシ類 (成虫)	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
	ズッキーニ	アザミウマ類	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和
		フキノメイガ	ベニカS乳剤	200～300倍	収穫7日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300L/10a)
			パンチョTF 顆粒水和剤	4000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～ 300L/10a)
	ストック	コナガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期	—	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハイマダラノ メイガ	モスピラン粒剤	0.5g/株	育苗期	1回/他5回	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		菌核病	家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	発病初期	5回	散布(100～ 300L/10a)
	☆ すもも	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫3日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
		ハダニ類	バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	2回	散布(200～ 700L/10a)
	セネガ	黒根病	GFベンレート水和剤	1000倍	収穫30日前	3回	散布(3L/㎡)
	ゼラニウム	オンシツコナ ジラミ	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		黒根病	GFベンレート水和剤	2000倍	育苗期	2回	セルトレイ(60 ×30cm)1冊 当り500mL 灌注
☆	セルリー	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内/他4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植時	1回/他2回(定植時土壌混和1回)	植穴土壌 混和
☆		ナモグリバエ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植時	1回/他2回(定植時土壌混和1回)	植穴土壌 混和
☆		ハモグリバエ 類	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前まで	3回以内/他4回 (定植時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
☆		萎縮炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
		斑点病	STダコニール1000	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
	せんきゅう	黒色根腐病	GFベンレート水和剤	160倍	植付前	1回	浸漬(30分)
	せんにちこう	茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	せんになちこう	苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		斑葉病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
	せんりょう	アザミウマ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
		カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
☆		炭そ病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(200～700mL/㎡)
	そば	ハスモン ヨトウ	STゼンターリ 顆粒水和剤	2000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
	そらまめ	アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	3回以内	株元散布
	未成熟そらまめ	アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		ダイズサヤタマバエ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		シロイチモジ マダラメイガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		フキノメイガ	ベニカS乳剤	300倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		マメシンクイガ	ベニカS乳剤	300倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		マメヒメサヤムシガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
	ソリダコ	カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
	だいおうしょう	シンクイムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/㎡)
	だいこん	アオムシ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫14日前	6回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカS乳剤	200倍	収穫30日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～4g/㎡	は種前	1回	植溝散布
		アブラムシ類	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫7日前	2回/クロ3回 (は種時土壌混和1回、は種後2回)	散布
			モスピラン粒剤	3g/㎡	は種時	1回	播溝土壌混和
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	6回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	2回/クロ3回 (は種時土壌混和1回、は種後2回)	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～4g/㎡	は種前	1回	植溝散布
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他2回(生育期1回)	土壌混和
		コナガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫30日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	3g/㎡	は種時	1回	播溝土壌混和
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～4g/㎡	は種前	1回	植溝散布
		タネバエ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他2回(生育期1回)	土壌混和
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他2回(生育期1回)	土壌混和
			サンケイ デナボン5%バイト	3～6g/㎡	収穫30日前	4回	株元散布
☆			ネキリバイト	3g/㎡	は種時～ 生育初期	4回以内	株元散布
		ナモグリバエ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫14日前	6回	散布(100～300mL/㎡)
		ハイマダラノメイガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫30日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		ヨトウムシ	ベニカS乳剤	200倍	収穫30日前	4回	散布(100～300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	だいこん	亀裂褐変症(リゾクトニア菌)	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和
		白さび病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(100～300L/10a)
		炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(100～300L/10a)
		白斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(100～300L/10a)
		べと病	サンボルドー	300～600倍	—	—	散布
		ワッカ症	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(100～300L/10a)
	だいず	アザミウマ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		アブラムシ類	家庭園芸用GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫60日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
			家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回/クワ4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/m ²)
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回/クワ4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/m ²)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫7日前	3回/クワ4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布
		コガネムシ類(成虫)	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/m ²	生育初期	3回以内	株元散布
		ハダニ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		フタスジヒメハムシ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回/クワ4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/m ²)
		ハモグリバエ	家庭園芸用マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		マメシクイガ	家庭園芸用マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
			ベニカS乳剤	300倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫7日前	3回/クワ4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/m ²)
		ハスモンヨトウ	家庭園芸用GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫60日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		菌核病	GFベンレート水和剤	1000～2000倍	収穫前日	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/m ²)
		黒根腐病	GFベンレート水和剤	乾燥種子重0.5%	は種前	1回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	種子粉衣
		紫斑病	GFベンレート水和剤	1000～2000倍	収穫前日	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/m ²)
	たであい		ベニカ水溶剤	2000倍	発生初期	4回	散布(100～300mL/m ²)
	たばこ	アブラムシ類	モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植時	1回/他3回(定植後2回)	株元散布
			モスピラン粒剤	0.25g/株	育苗期後半	1回/他3回(定植後2回)	株元散布
		ネキリムシ類	サンケイデナボン5%バイト	3～6g/m ²	移植時	—	株元処理
		うどんこ病	STダコニール1000	700～1000倍	—	2回	散布(25～150L/10a)
		野火病	ヤシマストマイ液剤20	1000～2000倍	—	—	散布
	たまねぎ	アザミウマ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300mL/m ²)
			家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～300mL/m ²)
		ネギアザミウマ	家庭園芸用GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫21日前	5回	散布(100～300mL/m ²)
		アブラムシ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300mL/m ²)
			家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～300mL/m ²)
		ケラ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/m ²	植付時	1回/他2回	土壌混和
		ネギコガ	ベニカS乳剤	300倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/m ²)
		コガネムシ類(幼虫)	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/m ²	植付時	1回/他2回	土壌混和

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	たまねぎ	タネバエ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
		タマネギバエ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		コオロギ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
		ハモグリバエ 類	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハスモン ヨトウ	ベニカS乳剤	300倍	収穫7日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
☆		乾腐病	GFベンレート水和剤	20倍	移植直前	1回/他8回(種子粉衣1回、育苗培土混和、 灌注、苗根部浸漬は合計1回、散布は6回)	苗根部浸漬 (3分間)
☆			GFベンレート水和剤	1g/1kg培土	は種前	1回/他8回(種子粉衣1回、育苗培土混和、 灌注、苗根部浸漬は合計1回、散布は6回)	育苗培土 混和
☆			GFベンレート水和剤	50倍	定植前	1回/他8回(種子粉衣1回、育苗培土混和、 灌注、苗根部浸漬は合計1回、散布は6回)	灌注(セル成 型育苗トレイ1 箱またはペー パーポット1冊 (30×60cm、 使用土壌約 5L)当り500 mL～1L)
☆			GFベンレート水和剤	100倍	定植前	1回/他8回(種子粉衣1回、育苗培土混和、 灌注、苗根部浸漬は合計1回、散布は6回)	灌注(セル成 型育苗トレイ1 箱またはペー パーポット1冊 (30× 60cm、使用 土壌約5L)当 り500mL)
			苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫前日	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)
☆		灰色かび病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	6回/8回(種子粉衣1回、育苗培土混和、 灌注、苗根部浸漬は合計1回、散布は6回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～ 300L/10a)
		灰色腐敗病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫前日	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
☆			家庭園芸用 トップジンMゾル	600～1000	収穫前日	5回/他7回(種子処理1回、苗根部浸漬1 回、無人ヘリ散布3回、散布3回)	散布(100～ 300L/10a)
☆		白色疫病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	6回/8回(種子粉衣1回、育苗培土混和、 灌注、苗根部浸漬は合計1回、散布は6回)	散布(100～ 300mL/㎡)
☆			STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～ 300L/10a)
		べと病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫前日	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～ 300L/10a)
	たらのき	センノカミキ リ幼虫	家庭園芸用 スミチオン乳剤	100倍	3～5月株養成期	2回	樹幹散布
		芽枯症	GFベンレート水和剤	1000倍	収穫28日前	1回	駒木瞬間 浸漬
☆	茶	チャノキイロ アザミウマ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	摘採7日前まで	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
		コミカンアブ ラムシ	STアクテリック乳剤	1000倍	摘採7日前	1回	散布
☆			ベニカ水溶剤	4000倍	摘採7日前まで	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
		ツマグロアオ カスミカメ	STアクテリック乳剤	1000倍	摘採7日前	1回	散布
		ヨモギエダ シャク	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 摘採7日前まで	—	散布(200～ 400mL/㎡)
☆		チャトゲコナ ジラミ	ベニカ水溶剤	2000倍	摘採7日前まで	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
		カンザワ ハダニ	STアクテリック乳剤	1000倍	摘採7日前	1回	散布
			アーリーセーフ	300～600倍	摘採前日まで	—	散布(150～ 500L/10a)
			ダニ太郎	1000倍	摘採14日前 (遮光栽培では遮 光開始14日前)	1回	散布(200～ 400L/10a)
			バロックフロアブル	1000～3000倍	摘採14日前	1回	散布(200～ 400L/10a)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	茶	チャノナガサ ビダニ	アーリーセーフ	300～600倍	摘採前日まで	—	散布(150～ 500L/10a)
			ダニ太郎	1000倍	摘採14日前 (遮光栽培では遮 光開始14日前)	1回	散布(200～ 400L/10a)
		チャノコカク モンハマキ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 摘採7日前まで	—	散布(200～ 400mL/㎡)
			ベニカS乳剤	200倍	摘採14日前まで	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
		チャハマキ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 摘採7日前まで	—	散布(200～ 400mL/㎡)
☆		マダラカサハ ラハムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	摘採7日前まで	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
		チャノホソガ	ベニカS乳剤	200～300倍	摘採14日前まで	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	摘採7日前まで	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
☆		チャノミドリヒ メヨコバイ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	摘採7日前まで	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
		赤焼病	サンボルドー	500倍	摘採21日前	—	散布
		網もち病	STダコニール1000	1000倍	摘採10日前	1回	散布(200～ 400L/10a)
		褐色円星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	摘採14日前	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	摘採10日前	1回	散布(200～ 400L/10a)
		黒葉腐病	STダコニール1000	700倍	摘採10日前	1回	散布(200～ 400L/10a)
		白星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	摘採14日前	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
		白紋羽病	GFベンレート水和剤	1000～2000倍	—	—	浸漬 (24時間)
		炭そ病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	摘採14日前	1回	散布(200～ 400mL/㎡)
			STダコニール1000	700～1000倍	摘採10日前	1回	散布(200～ 400L/10a)
			サンボルドー	500倍	摘採21日前	—	散布
☆		灰色かび病	STダコニール1000	700倍	摘採10日前	1回	散布(200～ 400L/10a)
		もち病	STダコニール1000	700～1000倍	摘採10日前	1回	散布(200～ 400L/10a)
			サンボルドー	500倍	摘採21日前	—	散布
		新梢枯死症 (輪斑病菌)	STダコニール1000	700倍	摘採10日前	1回	散布(200～ 400L/10a)
		輪斑病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	摘採14日前	1回	散布
			STダコニール1000	700～1000倍	摘採10日前	1回	散布(200～ 400L/10a)
	チューリップ	チューリップ サビダニ	STアクテリック乳剤	500倍	掘取後～植付前 まで	1回/他3回	浸漬(15分)
			STアクテリック乳剤	1000倍	植付前	1回/他3回	浸漬 (30～120分)
			STアクテリック乳剤	20倍/2L/100 立方メートル	掘取後、植付前、 乾燥・貯蔵時	3回	常温煙霧(ビ ニールハウス等)
		青かび病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800～1000倍	掘取時/植付時	8回	球根浸漬
		褐色斑点病	STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～ 300L/10a)
		球根腐敗病	GFベンレート水和剤	100～500倍	植付前、貯蔵前	2回	浸漬 (15～30分)
			GFベンレート水和剤	球根重量の 0.1～0.2%	植付前、貯蔵前	2回	粉衣
			GFベンレート水和剤	20倍	植付前	2回	瞬間浸漬
☆		条斑病	石原フロンサイド粉剤	40kg/10a	植付前	1回/他7回	全面土壌 混和
☆		葉腐病	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	植付前	1回/他7回	全面土壌 混和
☆		微斑モザイク 病	石原フロンサイド粉剤	40kg/10a	植付前	1回/他7回	全面土壌 混和
	チンゲンサイ	アオムシ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他2回(株元散布1回、散布1回)	株元散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	チンゲンサイ	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内/他4回(は種時及び定植時土壌混和合計1回、散布3回)	散布(100～300mL/m ²)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫7日前まで	3回以内/他4回(は種時及び定植時土壌混和合計1回、散布3回)	散布
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～定植当日	1回/他2回(株元散布1回、散布1回)	株元散布
		コナガ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～定植当日	1回/他2回(株元散布1回、散布1回)	株元散布
☆		キスジノミハムシ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植当日	1回/他2回(株元散布1回、散布1回)	株元散布
☆		ハモグリバエ類	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫7日前まで	3回以内/他4回(は種時及び定植時土壌混和合計1回、散布3回)	散布(100～300mL/m ²)
		炭そ病	GFベンレート水和剤	4000倍	収穫7日前	1回/他2回(種子粉衣1回、散布1回)	散布(100～300mL/m ²)
☆		白斑病	GFベンレート水和剤	4000倍	収穫7日前	1回/他2回(種子粉衣1回、散布1回)	散布(100～300mL/m ²)
	漬物用すいか	つる枯病	トップジンMペースト	原液	発病初期	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	塗布
	つつじ類	ツツジゲンバイ	園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
		チャドクガ	園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
		アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(200～700mL/m ²)
☆		アブラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆		カイガラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
		グンバイムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/m ²)
		ツツジ ゲンバイ	GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
			GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(200～700mL/m ²)
			STアクテリック乳剤	1000倍	—	6回	散布
			スミソン乳剤	2000倍	—	6回	散布
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
☆			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射(30cm離す)
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	発生初期	6回以内	散布(100～300mL/m ²)
			ベニカマツケア	500倍	—	4回	散布(200～700mL/m ²)
			モスピラン液剤	500倍	発生初期	5回/他5回(樹幹注入1回)	散布(200～700mL/m ²)
			モスピラン粒剤	3～6g/m ²	発生初期	1回/他5回(樹幹注入は1回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	発生初期	5回	散布(200～700mL/m ²)
☆		ケムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射(30cm離す)
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
		ルリチュウレン ジハバチ	GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
		ハマキムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/m ²)
		ベニモンアオリンガ	GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(200～700mL/m ²)
		発根促進	家庭園芸用 レンテミン液剤	10～20倍	挿し木時	—	さし穂基部 3時間浸漬
☆		カイガラムシ類	オルチオン乳剤	200倍	発生初期	5回/アセ5回/MEP6回	散布(200～700mL/m ²)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	つつじ類	ツツジグンバイ	オルチオン乳剤	200～400倍	発生初期	5回/アセ5回/MEP6回	散布(200～700mL/㎡)
☆		ケムシ類	オルチオン乳剤	200～400倍	発生初期	5回/アセ5回/MEP6回	散布(200～700mL/㎡)
	つばき類	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(200～700mL/㎡)
		アブラムシ類	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		カイガラムシ類	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		ツノロウムシ	ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ6回/フェン6回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		ツツジグンバイ	園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
		ケムシ類	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ6回/フェン6回	散布
		チャドクガ	GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(200～700mL/㎡)
			スミソン乳剤	2000倍	—	6回	散布
			テルスタースプレー	原液	発生初期	—	散布
			ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカX乳剤	500倍	—	6回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			モスピラン液剤	250倍	発生初期	5回/他5回(樹幹注入1回)	散布(200～700mL/㎡)
			園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	発生初期	5回	散布(200～700mL/㎡)
		発根促進	家庭園芸用 レンテミン液剤	10～20倍	挿し木時	—	さし穂基部 3時間浸漬
	つるむらさき	ヨトウムシ	ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
		紫斑病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫14日前	2回/他3回(種子粉衣1回、は種後2回)	散布(100～300mL/㎡)
	てんさい	褐斑病	サンボルドー	300～600倍	—	—	散布
			STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(100～300L/10a)
☆		叢根病	石原フロンサイド粉剤	育苗培土 1kg当り5～10g	は種前	1回/5回(は種前土壌混和・苗床灌注は合計1回、株元散布4回)	土壌混和
☆	とうがらし類	アブラムシ類	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日まで	3回以内	散布
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
		タバコガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	収穫7日前まで	2回以内	株元散布
☆		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	2回/他3回(種子粉衣1回、は種後2回)	全面散布 (2L/㎡)
		モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	10倍	収穫前日	—	移植・各作業 (摘芽、誘引 等)直前散布 (100L/10a)
			家庭園芸用 レンテミン液剤	原液	管理作業時	—	手指、器具を 薬液に浸漬し、 濡れた状態で使用
	とうがらし類 (ししとうを除く)	ミナミキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理土 壌混和

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	とうがらし類 (ししとうを除く)	アブラムシ類	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
	とうがん	ミナミキイロ アザミウマ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
		ハダニ類	バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	2回	散布(100～350L/10a)
	とうき	べと病	サンケイ エムダイファー水和剤	600倍	収穫14日前	4回	散布 (100L/10a)
	とうもろこし	カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫7日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		オオタバコガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	4回以内	株元散布
		アワノメイガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫14日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫7日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		フザリウム菌 による病害	GFベンレート水和剤	乾燥種子重 0.16%	は種前	1回	種子粉衣
☆	未成熟とうもろこし	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回以内	散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
		アワノメイガ	三明デナボン粒剤5	4～6g/㎡	収穫21日前(雄穂抽出期～雌穂抽出期)	2回	散布
		ダイメイチュウ	三明デナボン粒剤5	3～6g/㎡	収穫21日前	2回	散布
		ピシウム・リゾクトニア菌 による病害(苗立枯病等)	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回	種子粉衣
	トマト	アブラムシ類	オルトランDX粒剤	1g/株	定植時	1回/アセフェ1回、クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布・定植後株元散布合計3回)	植穴処理 土壌混和
			パイベニカVスプレー	原液	収穫前日	6回	散布
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は1回、散布・定植後株元散布は3回)、フェン3回、メパニ4回	散布
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布
			モスピラン・トップジンMスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤の定植時までの処理1回、散布・くん煙・定植後の株元散布合計3回)/チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			モスピラン液剤	500倍	収穫前日	3回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布・くん煙・定植後の株元散布合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
			GFモストップジンRスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤定植時処理1回、散布・くん煙・定植後株元散布3回)、フェン3回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			アーリーセーフ	300倍	収穫前日	—	散布(150～500mL/㎡)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	5g/培土L	は種時、 鉢上げ時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	育苗培土 混和
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	3回	散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	トマト	アブラムシ類	モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	植穴土壌混和
			モスピラン粒剤	0.5g/株	生育期、但し収穫前日まで	3回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	株元散布
			家庭園芸用GFオルトラン粒剤	3～6g/m ² (1～2g/株)	定植時	1回	植溝散布・植穴処理
			家庭園芸用スミチオン乳剤	2000倍	収穫開始14日前	2回	散布(100～300mL/m ²)
		ケラ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/m ²	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
		コガネムシ類(幼虫)	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/m ²	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
☆		オンシツコナジラム	ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	3回以内	散布(100～300mL/m ²)
			家庭園芸用GFオルトラン粒剤	3～6g/m ² (1～2g/株)	定植時	1回	植溝散布・植穴処理
		コナジラム類	アーリーセーフ	300倍	収穫前日	－	散布(150～500mL/m ²)
			兼商モレスタン水和剤	1500～2000倍	収穫前日	5回	散布
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	1～2g/株	育苗期	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	5g/培土L	は種時、鉢上げ時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	育苗培土混和
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)、フェン3回、メバニ4回	散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/m ²)
			モスピラン・トップジンMスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤の定植時までの処理1回、散布・くん煙・定植後の株元散布合計3回)/チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	植穴土壌混和
			モスピラン粒剤	1g/株	定植前日～定植当日	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	株元散布
		オオニジュウヤホシテントウ	家庭園芸用スミチオン乳剤	2000倍	収穫開始14日前	2回	散布(100～300mL/m ²)
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/m ²	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/m ²	生育初期	3回以内	株元散布
		トマトサビダニ	アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	－	散布(150～500mL/m ²)
			兼商モレスタン水和剤	1500～2000倍	収穫前日	5回	散布
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～300L/10a)
		ハダニ類	アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	－	散布(150～500mL/m ²)
			家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/m ²)
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～300L/10a)
		トマトハモグリバエ	モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	植穴土壌混和
☆		ハモグリバエ類	ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は1回、散布・定植後株元散布は3回)、フェン3回、メバニ4回	散布
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/m ²)
		マメハモグリバエ	ベストガード粒剤	2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
		萎ちよう病	GFベンレート水和剤	1000倍	定植前～定植1ヵ月後	2回/他6回(種子1回、灌注2回、散布3回)	灌注(150～300mL/株)
		うどんこ病	GFモストップジンRスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤定植時処理1回、散布・くん煙・定植後株元散布3回)、フェン3回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回/他4回(灌注2回)	散布(100～300L/10a)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	トマト	うどんこ病	アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	—	散布(150～500mL/㎡)
			家庭園芸用カリグリーン	800～1000倍	収穫前日	—	散布(100～300mL/㎡)
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～300L/a)
		疫病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回/他4回(灌注2回)	散布(100～300L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800～1200倍	収穫前日	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
			サンボルドー	300～600倍	—	—	散布
		菌核病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	3回/他6回(種子1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	収穫前日	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	散布(100～300L/10a)
		さび病	家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	—	散布(100～300mL/㎡)
		すすかび病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回/他4回(灌注2回)	散布(100～300L/10a)
		炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回/他4回(灌注2回)	散布(100～300L/10a)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回/他5回(種子粉衣1回)	種子粉衣
☆			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	5回/他5回(種子粉衣1回)	全面散布 (2L/㎡)
		苗立枯病(リ ゾクトニア菌)	STダコニール1000	1000倍	は種時、活着後(定 植14日後まで)	2回/他4回(灌注2回)	灌注(3L/㎡)
		灰色かび病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫前日	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土 壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布 は合計3回)、フェン3回、メバニ4回	散布
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他6回(種子1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回/他4回(灌注2回)	散布(100～300L/10a)
			家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	—	散布(100～300mL/㎡)
		葉かび病	GFモストップジンR スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤定植時処理1回、散 布・くん煙・定植後株元散布3回)、フェン3 回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫前日	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	3回	散布
			モスピラントップジンM スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤の定植時までの処理 1回、散布・くん煙・定植後の株元散布合計 3回)/チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他6回(種子1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
			STサプロール乳剤	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回/他4回(灌注2回)	散布(100～300L/10a)
			家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	—	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	収穫前日	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	散布(100～300L/10a)
		モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	10倍	収穫前日	—	移植・各作業 (摘芽、誘引 等)直前散布 (100L/10a)
		輪紋病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回/他4回(灌注2回)	散布(100～300L/10a)
☆	なし	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
☆		コナカイガラ ムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
☆		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
☆		チュウゴクナ シギジラミ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	なし	ケムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
		シンクイムシ類	ベニカS乳剤	200～300倍	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
		ハダニ類	ダニ太郎	1000～1500倍	収穫前日	1回	散布
			バロックフロアブル	2000倍	収穫14日前	2回	散布(200～700L/10a)
		ハマキムシ類	ベニカS乳剤	200倍	収穫前日	2回	散布(200～700mL/㎡)
		赤星病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	収穫45日前	3回	散布
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600～1000倍	収穫3日前	9回	散布(200～700mL/㎡)
		うどんこ病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回/他6回(塗布2回、散布4回)	散布(200～700mL/㎡)
		疫病	サンケイ オーソサイド水和剤80	1000倍	収穫3日前	9回	散布(200～700mL/㎡)
		枝枯病	GFベンレート水和剤	20倍	3月～6月	2回/他6回(塗布2回、散布4回)	塗布(マシン油で希釈)
		黒星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回/他6回(塗布2回、散布4回)	散布(200～700mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(休眠期1回)	散布(200～700L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600～1000倍	収穫3日前	9回	散布(200～700mL/㎡)
		紅粒がんしゅ病	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直後	3回/他11回(塗布3回、休眠期散布1回、 灌注1回、生育期散布6回)	塗布
		黒斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回/他3回(休眠期1回)	散布(200～700L/10a)
			トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直後	3回/他11回(塗布3回、休眠期散布1回、 灌注1回、生育期散布6回)	塗布
		心腐れ症 (胴枯病菌)	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回/他6回(塗布2回、散布4回)	散布(200～700mL/㎡)
		炭そ病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫3日前	9回	散布(200～700mL/㎡)
☆		胴枯病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回/他6回(塗布2回、散布4回)	散布(200～700mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	20倍	3月～6月	2回/他6回(塗布2回、散布4回)	塗布(マシン油で希釈)
			トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直後	3回/他11回(塗布3回、休眠期散布1回、 灌注1回、生育期散布6回)	塗布
		腐らん病	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直後	3回/他11回(塗布3回、休眠期散布1回、 灌注1回、生育期散布6回)	塗布
		切り口及び傷口の ゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直後、及び病枝切 除後	3回/他11回(塗布3回、休眠期散布1回、 灌注1回、生育期散布6回)	塗布
		輪紋病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回/他6回(塗布2回、散布4回)	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600～1000倍	収穫3日前	9回	散布(200～700mL/㎡)
			トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直後	3回/他11回(塗布3回、休眠期散布1回、 灌注1回、生育期散布6回)	塗布
	なし(無袋栽培)	アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		クワコナカイ ガラムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1500倍	収穫21日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
	なす	アザミウマ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植溝散布・ 植穴処理
		ミナミキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理・定植時土壌混和合計1回、定植後3回)	植穴処理 土壌混和
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和 は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、 散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	植穴土壌 混和
		アブラムシ類	オルトランDX粒剤	2g/株	定植時	1回/アセフェ1回、クワ4回(育苗期株元処 理・定植時土壌混和合計1回、散布・定植 後株元散布合計3回)	植穴処理 土壌混和
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土 壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布 は合計3回)、フェン5回、メバニ4回	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	なす	アブラムシ類	モスピラン・トップジンM スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤の定植時までの処理 1回、散布・くん煙・定植後の株元散布合計 3回)/チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			モスピラン液剤	500倍	収穫前日	3回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、 散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			GFモストッピンR スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤定植時処理1回、散 布・くん煙・定植後株元散布3回)、フェン5 回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			STアクテリック乳剤	500～1000倍	収穫前日	2回	散布
			アーリーセーフ	300倍	収穫前日	—	散布(150～ 500mL/㎡)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
			パイベニカVスプレー	原液	収穫前日	5回	散布
			ベストガード粒剤	5g/培土L	は種時、 鉢上げ時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理・定植時土壌混和合計1回、定植後3回)	育苗培土 混和
			ベストガード粒剤	2g/株	収穫前日	3回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理・定植時土壌混和合計1回、定植後3回)	生育期株元 散布
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理・定植時土壌混和合計1回、定植後3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理・定植時土壌混和合計1回、定植後3回)	植穴処理 土壌混和
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	5回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混 和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混 和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植時	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、 散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	植穴土壌 混和
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、 散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植溝散布・ 植穴処理
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(粒剤生育期処理2回)	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(粒剤生育期処理2回)	土壌混和
		オンシツコナ ジラミ	STアクテリック乳剤	500～1000倍	収穫前日	2回	散布
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	5回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植溝散布・ 植穴処理
		コナジラミ類	アーリーセーフ	300倍	収穫前日	—	散布(150～ 500mL/㎡)
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理・定植時土壌混和合計1回、定植後3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理・定植時土壌混和合計1回、定植後3回)	植穴処理 土壌混和
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土 壌混和は1回、散布・定植後株元散布は3 回)、フェン5回、メパニ4回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	4回/フェン5回、ミクロ4回	散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混 和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤の定植時までの処理 1回、散布・くん煙・定植後の株元散布合計 3回)/チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、 散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	株元散布
		テントウムシ ダマシ類	パイベニカVスプレー	原液	収穫前日	5回	散布
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(粒剤生育期処理2回)	土壌混和

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	なす	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	3回以内	株元散布
		チャノホコリダニ	アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	—	散布(150～500mL/㎡)
			兼商モレスタン水和剤	2000倍	収穫前日	3回	散布
		ハダニ類	GFモストップジンRスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤定植時処理1回、散布・くん煙・定植後株元散布3回)、フェン回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	—	散布(150～500mL/㎡)
			パイベニカVスプレー	原液	収穫前日	5回	散布
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)、フェン5回、メバニ4回	散布
			家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	6回	散布(100～300mL/㎡)
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～300L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	1回	散布(100～350L/10a)
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	5回以内	散布(100～300mL/㎡)
		ハモグリバエ類	ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)/フェン5回/メバニ4回	散布
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布
		マメハモグリバエ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
		うどんこ病	GFモストップジンRスプレー	原液	収穫前日	3回/アセタ4回(粒剤定植時処理1回、散布・くん煙・定植後株元散布3回)、フェン5回、チオ6回(種子処理1回、は種後5回)	散布
			STサプロール乳剤	1000～2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
			アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	—	散布(150～500mL/㎡)
			兼商モレスタン水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布
			パンチョTF顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～300L/a)
			ベニカXファインスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)、フェン5回、メバニ4回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	収穫前日	4回/フェン5回、ミクロ4回	散布
		疫病	サンボルドー	300～600倍	—	—	散布
		褐色腐敗病	サンボルドー	500倍	—	—	散布
		菌核病	家庭園芸用トップジンMゾル	1000倍	収穫前日	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	散布(100～300L/10a)
			GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	3回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回)	散布(100～300mL/㎡)
		黒枯病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回)	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
		すすかび病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
		苗立枯病	サンケイオーソサイド水和剤80	種子重量の0.2～0.4%	は種前	1回/他5回(種子粉衣1回)	種子粉衣
☆			サンケイオーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	5回/他5回(種子粉衣1回)	全面散布(2L/㎡)
		灰色かび病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回)	散布(100～300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	なす	灰色かび病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
		半身萎ちょう病	GFベンレート水和剤	500倍	定植後～ 収穫14日前	3回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回)	灌注(200～300mL/株)
			GFベンレート水和剤	1000倍	定植後～ 収穫14日前	3回/他4回(種子粉衣1回、は種後3回)	灌注(400～600mL/株)
	なたね	菌核病	GFベンレート水和剤	1000～2000倍	収穫3日前	2回	散布(100～300mL/m ²)
	なつみかん	アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫21日前	3回/他3回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/m ²)
		サンホーゼ カイガラムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	3回/他3回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/m ²)
		カメムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	3回/他3回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/m ²)
		コアオハナム グリ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	3回/他3回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/m ²)
		ハマキムシ 類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	3回/他3回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/m ²)
	なばな	アブラムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/m ²	定植時	1回	植溝土壌 混和
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/m ²	は種時	1回	播溝土壌 混和
		コナガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫14日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
		黒斑病	STダコニール1000	1000倍	出蕾前、但し収 穫21日前	3回	散布(100～300L/10a)
		白さび病	STダコニール1000	1000倍	出蕾前、但し収 穫21日前	3回	散布(100～300L/10a)
☆		根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	15～20kg/10a	は種又は定植前	1回	作条土壌 混和
☆			石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌 混和
		白斑病	STダコニール1000	1000倍	出蕾前、但し収 穫21日前	3回	散布(100～300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	出蕾前、但し収 穫21日前	3回	散布(100～300L/10a)
☆	なばな類	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/m ²	生育初期	3回以内	株元散布
☆	なばな類 (なばな、みずかけなを除く)	根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌 混和
	なばな類(なばなを除く)	黒斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫60日前	3回	散布(100～300L/10a)
		白さび病	STダコニール1000	1000倍	収穫60日前	3回	散布(100～300L/10a)
		白斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫60日前	3回	散布(100～300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫60日前	3回	散布(100～300L/10a)
	にがうり	ミナミキイロ アザミウマ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回 (定植時土壌混和は1回、散布は3回)	散布(100～300mL/m ²)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	3回/クロ4回 (定植時土壌混和は1回、散布は3回)	散布
		アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/m ²)
		うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
			兼商モレスタン水和剤	2000倍	収穫前日	3回	散布
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～300L/a)
		炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
		つる枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
		斑点病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	4回	散布(100～300L/10a)
	にしきぎ	ケムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(200～700mL/m ²)
	にら	ネギアザミウ マ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/m ²)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前	3回	散布
		アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(100～300mL/m ²)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	にら	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	収穫3日前まで	3回以内	株元散布
		ネダニ	STアクテリック乳剤	2000倍	定植直後	1回	灌注(3L/㎡)
☆		白絹病	石原フロンスайд粉剤	20kg/10a	収穫30日前まで	1回	株元散布
☆	にら(花茎)	ネギアザミウマ	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
☆		アブラムシ類	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(100～300mL/㎡)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	収穫3日前まで	3回以内	株元散布
	にんじん	アブラムシ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		キアゲハ	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
		ヤサイゾウムシ	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	4回	散布(100～300mL/㎡)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期 但し収穫7日前まで	5回以内	株元散布
		黒葉枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	5回/他5回(吹付処理1回)	散布(100～300L/10a)
			STダコニール1000	12(乾燥種子1kg当り60ml)	は種前	1回/他5回(吹付処理1回)	吹付処理(種子消毒機)
	にんにく	アブラムシ類	家庭園芸用GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
		ネギコガ	家庭園芸用GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
		チューリップサビダニ	STアクテリック乳剤	1000倍	植付前	1回	浸漬(120分)
		黄斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300L/10a)
		さび病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300L/10a)
		葉枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300L/10a)
		白斑葉枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300L/10a)
		アザミウマ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300mL/㎡)
	家庭園芸用スミチオン乳剤		1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～300mL/㎡)	
	ねぎ	ネギアザミウマ	ベストガード粒剤	6kg/10a	定植時	1回/他4回(定植時までの処理1回、株元処理・水溶剤散布合計3回)	植溝処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約3～4L)当り50g	定植当日	1回/他4回(定植時までの処理1回、株元処理・水溶剤散布合計3回)	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布
			ベストガード粒剤	6kg/10a	は種時	1回/他4回(定植時までの処理1回、株元処理・水溶剤散布合計3回)	作状処理 土壌混和
☆			ベストガード粒剤	6kg/10a	収穫前日	3回/他4回(定植時までの処理1回、株元処理・水溶剤散布合計3回)	株元処理
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	4回/クロ4回(定植時1回)	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前	4回/クロ4回(定植時1回)	散布
			モスピラン粒剤	6g/㎡	は種時	1回/他3回(播種時の土壌混和は1回、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は1回)	播溝土壌 混和
			モスピラン粒剤	6g/㎡	植付時	1回/他3回(播種時の土壌混和は1回、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は1回)	植溝土壌 混和
			モスピラン粒剤	0.25～0.5g/株	定植前日～定植当日	1回/他3回(播種時の土壌混和は1回、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は1回)	株元散布
		アブラムシ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
			ネギコガ	ベニカS乳剤	300倍	収穫7日前	3回
	家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍		収穫21日前	2回	散布(100～300mL/㎡)	
	コガネムシ類(幼虫)	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和	
	タネバエ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和	

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	ねぎ	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	3回以内	株元散布
		ネギハモグリバエ	家庭園芸用マラソン乳剤	1000倍	収穫7日前	6回	散布(100～300mL/㎡)
			ベストガード粒剤	6kg/10a	定植時	1回/他4回(定植時までの処理1回、株元処理・水溶剤散布合計3回)	植溝処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	6kg/10a	収穫前日	3回/他4回(定植時までの処理1回、株元処理・水溶剤散布合計3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	5g/培土L	は種時	1回/他4回(定植時までの処理1回、株元処理・水溶剤散布合計3回)	育苗培土 混和
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	4回/クロ4回(定植時1回)	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	6g/㎡	は種時	1回/他3回(播種時の土壌混和は1回、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は1回)	播溝土壌 混和
			モスピラン粒剤	6g/㎡	植付時	1回/他3回(播種時の土壌混和は1回、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は1回)	植溝土壌 混和
			モスピラン粒剤	0.25～0.5g/株	定植前日～定植当日	1回/他3回(播種時の土壌混和は1回、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は1回)	株元散布
		シロイチモジヨトウ	ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	3回	散布(100～300mL/㎡)
		萎ちょう病	GFベンレート水和剤	100～200倍	定植直前	1回/他3回(種子粉衣1回、苗根部浸漬及び灌注合計1回、散布1回)	浸漬(5分)
			GFベンレート水和剤	500倍	定植直前	1回/他3回(種子粉衣1回、苗根部浸漬及び灌注合計1回、散布1回)	浸漬(30分)
		黒斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回/他4回(灌注1回、散布3回)	散布(100～300L/10a)
		さび病	STサブロール乳剤	800～1000	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回/他4回(灌注1回、散布3回)	散布(100～300L/10a)
		小菌核腐敗病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回/他4回(灌注1回、散布3回)	散布(100～300L/10a)
			GFベンレート水和剤	1000～2000倍	収穫30日前	1回/他3回(種子粉衣1回、苗根部浸漬及び灌注合計1回、散布1回)	散布(100～300mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	100～200倍	定植直前	1回/他3回(種子粉衣1回、苗根部浸漬及び灌注合計1回、散布1回)	浸漬(5分)
			GFベンレート水和剤	500倍	定植直前	1回/他3回(種子粉衣1回、苗根部浸漬及び灌注合計1回、散布1回)	浸漬(30分)
			GFベンレート水和剤	500倍	定植前	1回/他3回(種子粉衣1回、苗根部浸漬及び灌注合計1回、散布1回))	灌注(セル成型育苗トレイ1箱、ペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌5L)当り500mL)
			石原フロンサイド粉剤	15kg/10a	土寄せ時但し収穫21日前まで	2回	株元散布
☆			石原フロンサイド粉剤	15kg/10a	土寄せ時但し収穫21日前まで	2回	株元散布
☆		苗立枯病(リゾクトニア菌)	STダコニール1000	500倍	出芽揃い後(出芽3日後～10日後まで)	1回/他4回(灌注1回、散布3回)	灌注(0.5L/㎡)
		葉枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回/他4回(灌注1回、散布3回)	散布(100～300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回/他4回(灌注1回、散布3回)	散布(100～300L/10a)
	ネクタリン	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回以内	散布
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
☆		コガネムシ類(成虫)	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回以内	散布
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		シンクイムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカS乳剤	200～300倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		ハダニ類	ダニ太郎	1000～1500倍	収穫3日前	1回	散布(200～700L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	2回	散布(200～700L/10a)
		モモハモグリガ	ベニカS乳剤	200～400倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	ネクタリン	黒星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700L/10a)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	2回	散布(200～700L/10a)
		灰星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700L/10a)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	2回	散布(200～700L/10a)
		ホモプシス 腐敗病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫3日前	3回	散布(200～700L/10a)
☆	のざわな	根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌 混和
☆			石原フロンサイド粉剤	20kg/10a	は種又は定植前	1回	作条土壌 混和
	パイナップル	根腐萎ちよう 病	サンケイ オースサイド水和剤80	500倍	収穫14日前	3回	散布(300～400mL/㎡)
	パイナップル(苗木)	パイナップルコ ナカイガラムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	植付前	1回	苗浸漬 (10秒間)
	はくさい	アオムシ	STゼンターリ 顆粒水和剤	2000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前まで	2回/他3回 (定植時までの処理1回、定植後散布2回)	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	2回/他3回 (定植時までの処理1回、定植後散布2回)	散布
			モスピラン液剤	250倍	収穫14日前	3回/他4回 (粒剤株元散布・土壌混和1回、散布3回)	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	株元散布
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	植穴土壌 混和
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500～2000倍	収穫30日前	1回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植穴処理
		アザミウマ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	2回/他3回 (定植時までの処理1回、定植後散布2回)	散布(100～300mL/㎡)
☆			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	株元散布
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	植穴土壌 混和
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500～2000倍	収穫30日前	1回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植穴処理
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6g/㎡	は種時	1回	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6g/㎡	は種時	1回	土壌混和
		コナガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	2000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
☆			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前まで	2回/他3回 (定植時までの処理1回、定植後散布2回)	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	株元散布
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	植穴土壌 混和
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500～2000倍	収穫30日前	1回	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植穴処理
		ダンゴムシ	サンケイ デナボン5%ベイト	3～4g/㎡	収穫21日前	3回	株元散布
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6g/㎡	は種時	1回	土壌混和
			サンケイ デナボン5%ベイト	3～6g/㎡	収穫21日前	3回	株元散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	はくさい	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	は種時～ 生育初期	5回以内	株元散布
		コオロギ	サンケイ デナボン5%バイト	3～4g/㎡	収穫21日前	3回	株元散布
		カブラハバチ	家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	収穫30日前	1回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハイマダラノ メイガ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	株元散布
		ハスモン ヨトウ	サンケイ デナボン5%バイト	3～6g/㎡	収穫21日前	3回	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	収穫30日前	1回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ヨトウムシ	STゼンターリ 顆粒水和剤	2000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカS乳剤	200倍	収穫7日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	収穫30日前	1回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	3～6g/㎡ (1～2g/株)	定植時	1回	植穴処理
☆		黄化病	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回/2回(土壌混和1回、土壌散布1回)	全面土壌 混和
☆		菌核病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫7日前	2回/他3回(種子粉衣1回、は種後2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		黒斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回/他3回 (は種・定植前混和1回、散布2回)	散布(100～ 300L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600～1200倍	収穫7日前	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		白さび病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回/他3回 (は種・定植前混和1回、散布2回)	散布(100～ 300L/10a)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600～1200倍	収穫7日前	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		軟腐病	ヤシマストマイ液剤20	1000～2000倍	収穫14日前	3回	散布
☆		根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	15～20kg/10a	は種又は定植前	1回/2回(土壌混和1回、土壌散布1回)	作条土壌 混和
☆			石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回/2回(土壌混和1回、土壌散布1回)	全面土壌 混和
		白斑病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫7日前	2回/他3回(種子粉衣1回、は種後2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回/他3回 (は種・定植前混和1回、散布2回)	散布(100～ 300L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600～1200倍	収穫7日前	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		べと病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫7日前	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回/他3回 (は種・定植前混和1回、散布2回)	散布(100～ 300L/10a)
☆	葉しょうが	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期 但し収 穫30日前まで	4回以内	株元散布
	はすいも(葉柄)	ハダニ類	兼商モレスタン水和剤	3000倍	収穫前日	3回	散布
	ハスカップ	ハマキムシ 類	ベニカS乳剤	200～300倍	収穫3日前	2回	散布(200～ 700mL/㎡)
☆	パセリ	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫14日前まで	1回	散布(100～ 300mL/㎡)
		キアゲハ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	収穫前日まで	3回	株元散布
		立枯病	GFベンレート水和剤	1000倍	収穫45日前	2回/他3回(種子粉衣1回、は種後2回)	灌注(3L/㎡)
	葉たまねぎ	苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫7日前	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		灰色かび病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫7日前	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		白色疫病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫7日前	5回/他6回(種子粉衣1回、は種後5回)	散布(100～ 300mL/㎡)
	はつかだいこん	ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他2回(生育期1回)	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他2回(生育期1回)	土壌混和
		タネバエ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他2回(生育期1回)	土壌混和

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	はつかだいこん	ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	は種時	1回/他2回(生育期1回)	土壌混和
	パッションフルーツ	疫病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回	散布(200～ 700L/10a)
		円斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回	散布(200～ 700L/10a)
☆	はなっこりー	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日まで	2回/他3回 (定植時土壌混和1回、散布2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
☆	はなみずき		ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆		カイガラムシ 類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
		アメリカシ ロヒトリ	ベニカX乳剤	500倍	—	6回	散布
☆		ケムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
		うどんこ病	ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカX乳剤	500倍	—	6回	散布
☆			ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
		パパイヤ	ナガカタカイ ガラムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	3回
	ヒラタカタカイ ガラムシ		ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
	炭そ病		STダコニール1000	1000倍	収穫前日	5回	散布(200～ 700L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫14日前	3回	(200～700 mL/㎡)
	はばたん	アオムシ	オルトランDX粒剤	2g/株 (40g/㎡まで)	発生初期	4回/アセフェ5回/クロ4回	生育期株元 処理
			ベニカS乳剤	200倍	発生初期	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		アブラムシ類	オルトランDX粒剤	2g/株 (40g/㎡まで)	発生初期	4回/アセフェ5回/クロ4回	生育期株元 処理
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		ハマキムシ 類	ベニカS乳剤	200倍	発生初期	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ヨトウムシ類	ベニカS乳剤	200倍	発生初期	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
		うどんこ病	ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
☆	ばら	アザミウマ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		チャノキイロ アザミウマ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	発生初期	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
☆		ヒラズハナ アザミウマ	ベニカR乳剤	100倍	—	6回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
			モスピラン液剤	500倍	発生初期	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布
			STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
☆			オルチオン乳剤	200～400倍	発生初期	5回/アセ5回/MEP6回	散布(100～ 300mL/㎡)
			テルスタースプレー	原液	発生初期	—	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	ばら	アブラムシ類	ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	発生初期	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
		カイガラムシ 類	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		バラシロ カイガラムシ	カイガラムシエアゾール	—	—	4回/クロ4回、フェン6回	数回断続噴射 (30cm離す)
		ケムシ類	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
☆		コガネムシ類 (成虫)	ベニカR乳剤	100倍	—	6回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆		コガネムシ類 (幼虫)	ベニカ水溶剤	2000倍	発生初期	4回	生育期株元 灌注(1L/㎡)
		コナジラミ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆		クロケシツブ チョッキリ	ベニカR乳剤	100倍	—	6回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		ハダニ類	GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			ダニ太郎	1000倍	開花前	1回	散布(100～ 300L/10a)
			テルスタースプレー	原液	発生初期	—	散布
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
		チュウレンジ ハバチ	GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			ベニカJスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回/フェン6回	散布
☆			ベニカR乳剤	100倍	—	6回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			園芸用キンチョールE	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
		ハバチ類	ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
		ハモグリバエ 類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆		ハスモン ヨトウ	ベニカR乳剤	100倍	—	6回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		うどんこ病	GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	—	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
			GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布
			STサプロール乳剤	1000倍	—	5回	散布(100～ 300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	ばら	うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～300L/10a)
			ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
			ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
			ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
			マイローズ殺菌スプレー	原液	—	—	散布
			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
		茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		黒星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	—	6回	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカXスプレー	—	—	—	散布
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メパニ5回	散布
			マイローズ殺菌スプレー	原液	—	—	散布
			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
			GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
			GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布
			STサプロール乳剤	1000倍	—	5回	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～300L/10a)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	発病初期	5回	散布(100～300L/10a)
			ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
			ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		さび病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		炭そ病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～300mL/㎡)
		灰色かび病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
		べと病	サンケイ エムダイファー水和剤	400～650倍	—	—	散布
☆	パンジー	アザミウマ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		アブラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		コナジラミ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		ハダニ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		ハモグリバエ 類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		ハスモン ヨトウ	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		うどんこ病	ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	パンジー	根腐病	GFベンレート水和剤	2000倍	育苗期	2回	セルトレイ(60×30cm)1冊 当り500mL 灌注
		灰色かび病	ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
	ピーマン	ミナミキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	2回/クロ3回(定植時1回、散布・定植後株 元散布は合計2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	2回/クロ3回(定植時1回、散布・定植後株 元処理は合計2回)	散布
		アブラムシ類	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植時	1回/他3回(粒剤の定植時までの処理は1回、 散布・くん煙・定植後の株元散布は合計2回)	植穴土壌 混和
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他3回(粒剤の定植時までの処理は1回、 散布・くん煙・定植後の株元散布は合計2回)	株元散布
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和1回、散布3回)	株元処理
☆			ベニカR乳剤	200倍	前日まで	3回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	2回/クロ3回(定植時1回、散布・定植後株 元散布は合計2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	2g/株	定植時	1回	株元散布
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
		コナジラミ類	ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和1回、散布3回)	株元処理
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	2回/クロ3回(定植時1回、散布・定植後株 元散布は合計2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他3回(粒剤の定植時までの処理は1回、 散布・くん煙・定植後の株元散布は合計2回)	株元散布
		タバコガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他3回(生育期2回)	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		チャノホコリ ダニ	兼商モレスタン水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～ 300L/10a)
☆			ベニカR乳剤	200倍	前日まで	3回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
		うどんこ病	STサブロール乳剤	1000倍	収穫開始14日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300L/10a)
			兼商モレスタン水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～ 300L/a)
		黒枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300L/10a)
		炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300L/10a)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回/他2回(種子粉衣1回)	種子粉衣
☆			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	2回/他2回(種子粉衣1回)	全面散布 (2L/㎡)
		斑点病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300L/10a)
		モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	10倍	収穫前日	—	移植・各作業 (摘芽、誘引 等)直前散布 (100L/10a)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	ピーマン	モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	原液	管理作業時	—	手指、器具を 薬液に浸漬 し、濡れた状 態で使用
☆	ひいらぎもくせい	アブラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆		カイガラムシ 類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆		ケムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆		ヘリグロテント ウノミハムシ	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
☆	ひえ	アワノメイガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	2000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)
	ひこしまはるな	アブラムシ類	モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回	植穴土壌 混和
	ピタヤ	炭腐病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫14日前	2回	散布(200～ 700mL/㎡)
	ひまわり	タバコガ	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		黒斑病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		べと病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		白斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫28日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
☆	びわ	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～ 700mL/㎡)
☆		カイガラムシ 類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
		クワカミキリ	園芸用キンチョールE	—	収穫7日前	3回	ノズル差込 噴射
☆		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
		ミカンハダニ	バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	2回	散布(200～ 700L/10a)
		ごま色斑点 病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫14日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
		灰斑病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫14日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
		切り口及び傷 口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直 後、及び病枝切 除後	3回/他7回(塗布3回、散布3回、灌注1回)	塗布
		クワカミキリ	園芸用キンチョールE	—	収穫7日前	3回	ノズル差込 噴射
	斑入りアマドコロ	コウモリガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	—	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハマキムシ 類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		斑点病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
☆		モモアカ アブラムシ	モスピラン粒剤	2g/株(但し、30 kg/10aまで)	収穫90日前	1回/他3回 (株元散布1回、散布及びくん煙合計2回)	株元散布
☆	ふぎ	コナジラミ類	モスピラン粒剤	2g/株(但し、30 kg/10aまで)	収穫90日前	1回/他3回 (株元散布1回、散布及びくん煙合計2回)	株元散布
		灰色かび病	STダコニール1000	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
		葉枯病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300mL/㎡)
		シロイチモジ マダラメイガ	STゼンターリ 顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但 し、収穫前日まで	—	散布(100～ 300mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	ぶどう	チャノキイロ アザミウマ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500～2000倍	収穫60日前	1回	散布(200～700mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		ブドウネアブラムシ	モスピラン粒剤	30g/㎡ (6kg/10a以下)	収穫14日前	3回	樹冠下、主幹 周辺散布
☆		コナカイガラ ムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	3回	散布
☆		ブドウトラカミ キリ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
☆		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
☆		コガネムシ類 (成虫)	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
			ダニ太郎	1000～1500倍	収穫21日前	1回	散布(200～700L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	1回	散布(200～700L/10a)
		ブドウサビ ダニ	ダニ太郎	1000倍	収穫21日前	1回	散布(200～700L/10a)
		ハマキムシ 類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500倍	収穫60日前	1回	散布(200～700mL/㎡)
☆		フタテンヒメ ヨコバイ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1500～2000倍	収穫60日前	1回	散布(200～700mL/㎡)
		うどんこ病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫45日前	3回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		枝膨病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	200倍	休眠期	1回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		晩腐病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫45日前	3回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	200～500倍	休眠期	1回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
			トップジンMペースト	3倍	休眠期(萌芽前)	3回/他5回 (塗布3回、休眠期散布1回、生育期散布1回)	塗布
		褐斑病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫45日前	3回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
		黒とう病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	2000倍	収穫45日前	3回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			GFベンレート水和剤	200～500倍	休眠期	1回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	収穫45日前	1回/他5回(塗布3回、休眠期散布1回、 生育期散布1回)	散布(200～700L/10a)
		つる割病	GFベンレート水和剤	200～500倍	休眠期	1回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		灰色かび病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫45日前	3回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
		べと病	サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫45日前	2回	散布(200～700mL/㎡)
			サンボルドー	600倍	—	—	散布
		芽枯病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫45日前	3回/他4回(休眠期1回、散布3回)	散布(200～700mL/㎡)
		切り口及び傷口の ゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直 後、及び病枝切 除後	3回/他5回 (塗布3回、休眠期散布1回、生育期散布1回)	塗布
	ぶどう(大粒種)	アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫30日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法	
	ぶどう(大粒種)	ブドウトラカミ キリ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
		ブドウスカシ バ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫30日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
		ハマキムシ 類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
		ブドウトリバ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫30日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
	ぶどう(小粒種)	アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫90日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
		ブドウトラカミ キリ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫90日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
		ブドウスカシ バ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫90日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
		ハマキムシ 類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫90日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
		ブドウトリバ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫90日前	2回/他4回 (収穫終了後から萌芽まで2回、萌芽後2回)	散布(200～ 700mL/㎡)	
	ぶな(伐倒木)	クワイカビ類に よる木材腐朽	トップジンMペースト	原液	伐倒直後	1回/他5回	木口に塗布	
	プラタナス	アメリカ シロヒトリ	スミソン乳剤	1000～2000倍	－	6回	散布	
☆	プリムラ	アザミウマ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
		アブラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布	
			コナジラミ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布
		ハダニ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
		ハモグリバエ 類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
		ハスモン ヨトウ	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
		うどんこ病	ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
			ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
		灰色かび病	家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	発病初期	5回	散布(100～ 300L/10a)	
			ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
			ベニカXファインスプレー	原液	発病初期	4回/クロ4回、フェン6回、メパニ5回	散布	
			モスピラン・トップジンM スプレー	原液	発生初期	5回	散布	
☆		ブルーベリー	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫45日前まで	3回以内	散布(200～ 700mL/㎡)
☆			ケムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫45日前まで	3回以内	散布(200～ 700mL/㎡)
	ベニカベジフルスプレー			原液	収穫45日前	3回	散布	
	すす点病		サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫21日前	2回	散布(200～ 700mL/㎡)	
	灰色かび病		家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	－	散布(200～ 700mL/㎡)	
			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	収穫21日前	2回	散布(200～ 700mL/㎡)	
	バルデシ ア葉枯病		GFベンレート水和剤	3000倍	収穫7日前	1回	散布(200～ 700mL/㎡)	
	斑点病		GFベンレート水和剤	3000倍	収穫7日前	1回	散布(200～ 700mL/㎡)	
			サンケイ オーソサイド水和剤80	500～1000倍	収穫21日前	2回	散布(200～ 700mL/㎡)	
	ブロッコリー		家庭園芸用 マラソン乳剤	1000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)	
		アオムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	3回/クロ4回(定植時までの処理は1回、定 植後散布は3回)	散布(100～ 300mL/㎡)	
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前	3回/クロ4回(定植時までの処理は1回、定 植後散布は3回)	散布	
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回(粒剤定植時1回、散布・定植 後株元散布3回)	植穴土壌 混和	

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	ブロッコリー	アオムシ	モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	株元散布
		アザミウマ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	3回/クロ4回 (定植時までの処理は1回、定植後散布は3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	植穴土壌 混和
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	株元散布
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	2回/他2回(粒剤生育期処理1回)	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	2回/他2回(粒剤生育期処理1回)	土壌混和
		コナガ	ベニカS乳剤	200倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	3回/クロ4回 (定植時までの処理は1回、定植後散布は3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5～1g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	株元散布
			モスピラン粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	植穴土壌 混和
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	収穫30日前	2回/他2回(粒剤生育期処理1回)	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		ハイマダラノ メイガ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回 (粒剤定植時1回、散布・定植後株元散布3回)	株元散布
		ヨトウムシ	家庭園芸用 GFオルトラン粒剤	6g/㎡(2g/株)	定植時	1回	株元散布
		根こぶ病	STダコニール1000	1000倍	定植時	1回/他3回(灌注1回、散布2回)	灌注(3L/㎡)
☆			石原フロンサイド粉剤	15～20kg/10a	は種又は定植前	1回	作条土壌 混和
☆			石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌 混和
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫21日前 (出蕾前)	2回/他3回(灌注1回、散布2回)	散布(100～ 300L/10a)
	ベゴニア	アブラムシ類	オルトランDX粒剤	2g/株 (40g/㎡まで)	発生初期	4回/アセフェ5回/クロ4回	生育期株 元処理
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メバ5回	散布
		コガネムシ類 (幼虫)	オルトランDX粒剤	2g/株 (40g/㎡まで)	発生初期	4回/アセフェ5回/クロ4回	生育期株 元処理
		うどんこ病	GFオルトランC	—	—	—	数回断続噴射 (30cm離す)
			ベニカXファイン エアゾール	原液	—	4回/クロ4回/フェン6回/メバ5回	散布
	ベチュニア	アブラムシ類	モスピラン液剤	500倍	発生初期	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布
		ハダニ類	GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布
		うどんこ病	GFモストップジンR スプレー	原液	発生初期	5回/アセタ5回、フェン6回、チオ5回	散布
	ポインセチア	オンシツコナ ジラミ	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		コナジラミ類	兼商モレスタン水和剤	1000～2000倍	—	—	散布
		うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	2000倍	—	—	散布
☆	ほうれんそう	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	4000倍	収穫前日まで	3回/他4回 (は種時土壌混和1回、散布3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	4回	散布(100～ 300mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～ 300mL/㎡)
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	2回以内	株元散布
		ハウレンソウケ ナガコナダニ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	2000倍	収穫21日前	2回	散布(100～ 300mL/㎡)
		萎ちょう病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫21日前	2回/他3回(種子粉衣1回、は種後2回)	灌注(3L/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	ホクシャ	オンシツコナジラミ	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
	ばけ	ロウムシ類	ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
		ケムシ類	ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
	ぼたん	根黒斑病	GFベンレート水和剤	20倍	植付前	2回	苗基部浸漬(10分)
			GFベンレート水和剤	500倍	植付前	2回	苗基部浸漬(16時間)
	ホップ	ハダニ類	バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	1回	散布(200～700L/10a)
	まくわうり	うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	2000～4000倍	収穫3日前	10回	散布
		つる枯病	トップジンMペースト	原液	発病初期	5回/他6回(種子処理1回、播種後5回)	塗布
☆	まさき	アオバハゴロモ	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
		アブラムシ類	STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
☆		カイガラムシ類	ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
			STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		ロウムシ類	ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
		ケムシ類	ベニカDX	—	—	—	数回断続噴射(30cm離す)
☆			ベニカXファインスプレー	原液	発生初期	5回/クロ6回、フェン6回、メパニ5回	散布
			ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ6回、フェン6回	数回断続噴射(30cm離す)
			STアクテリック乳剤	500～1000倍	—	6回	散布
		ミノウスバ	GFオルトラン液剤	250～500倍	—	5回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカケムシエアゾール	—	—	4回/クロ6回、フェン6回	数回断続噴射(30cm離す)
		うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤	2000倍	—	2回	散布(100～300L/a)
	マリーゴールド	アブラムシ類	ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		ハモグリバエ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	発生初期	6回	散布(100～300mL/㎡)
		ハスモンヨトウ	ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
		うどんこ病	ベニカグリーンVスプレー	原液	—	5回/フェン6回、ミクロ5回	散布
	マルメロ	黒点病	サンケイオーソサイド水和剤80	1000倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		ごま色斑点病	STダコニール1000	1000倍	収穫30日前	4回	散布(200～700L/10a)
		切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回/他9回(塗布3回、散布6回)	塗布
☆	マンゴー	アザミウマ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		チャノキイロアザミウマ	ベニカR乳剤	100倍	14日前まで	2回以内	散布(200～700mL/㎡)
		コナカイガラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		ハダニ類	ダニ太郎	1000倍	収穫7日前	1回	散布(200～700L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	2回	散布(200～700L/10a)
		炭そ病	サンケイオーソサイド水和剤80	600倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
	実えんどう	ウリノメイガ	STゼンターリ顆粒水和剤	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	—	散布(100～300mL/㎡)
	みかん	アブラムシ類	家庭園芸用スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫14日前	5回/他5回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/㎡)
		カメムシ類	家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	5回/他5回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/㎡)
		サンホーゼカイガラムシ	家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	5回/他5回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	みかん	カタツムリ類	ナメナイト	1～3kg/10a	収穫30日前まで	2回/他6回 (散布、株元散布は合計3回(株元散布は2回))	株元散布
		コアオハナムグリ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	5回/他5回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/㎡)
☆		ナメクジ類	ナメナイト	1～3kg/10a	収穫30日前まで	2回/他6回 (散布、株元散布は合計3回(株元散布は2回))	株元散布
		チャノホコリダニ	兼商モレスタン水和剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布
		ハダニ類	兼商モレスタン水和剤	1000～2000倍	収穫7日前	3回	散布
		ミカンサビダニ	兼商モレスタン水和剤	1000倍	収穫7日前	3回	散布
			バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	2回	散布(200～700L/10a)
		ミカンハダニ	バロックフロアブル	2000～3000倍	収穫前日	2回	散布(200～700L/10a)
		ハマキムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	5回/他5回(樹幹処理は1回)	散布(200～700mL/㎡)
		貯蔵病害 (青かび病)	家庭園芸用 トップジンMゾル	1000～2000倍	収穫前日	5回/他8回(塗布3回、散布、空中散布、無人ヘリ散布合計5回)	散布(200～700L/10a)
			GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
		黒点病	サンケイ エムダイファア水和剤	600～800	収穫60日前	2回	散布
		貯蔵病害 (黒斑病)	GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
		貯蔵病害 (軸腐病)	家庭園芸用 トップジンMゾル	1000～2000倍	収穫前日	5回/他8回(塗布3回、散布、空中散布、無人ヘリ散布合計5回)	散布(200～700L/10a)
			GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
		小黒点病	サンケイ エムダイファア水和剤	600～800	収穫60日前	2回	散布
		そうか病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	700～1000倍	収穫前日	5回/他8回(塗布3回、散布、空中散布、無人ヘリ散布合計5回)	散布(200～700L/10a)
		貯蔵病害 (炭そ病)	GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
		灰色かび病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
		貯蔵病害 (緑かび病)	家庭園芸用 トップジンMゾル	1000～2000倍	収穫前日	5回/他8回(塗布3回、散布、空中散布、無人ヘリ散布合計5回)	散布(200～700L/10a)
			GFベンレート水和剤	4000～6000	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
	みしまさいこ	炭そ病	STダコニール1000	800倍	収穫30日前	3回	散布(100～300L/10a)
☆	みずかけな	根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	40kg/10a	は種又は定植前	1回	作条散布
	みずな	ダイコンハムシ	ベニカS乳剤	300倍	収穫14日前	1回	散布(100～300mL/㎡)
		立枯病	STダコニール1000	1000倍	は種時	1回	灌注(3L/㎡)
		炭そ病	GFベンレート水和剤	4000倍	収穫14日前	1回/他2回(種子粉衣1回、散布1回)	散布(100～300mL/㎡)
☆		根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	30kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和
☆		白斑病	GFベンレート水和剤	4000倍	収穫14日前	1回/他2回(種子粉衣1回、散布1回)	散布(100～300mL/㎡)
☆	みつば	アブラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布(100～300L/10a)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	3回以内	散布
		菌核病	GFベンレート水和剤	種子重量0.5%	は種前	1回	種子粉衣
			GFベンレート水和剤	500倍	は種前	1回	浸漬 (24時間)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	根株養成期 (収穫75日前)	3回	散布(100～300L/10a)
	ミニトマト	アブラムシ類	パイベニカVスプレー	原液	収穫前日	6回	散布
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	5g/培土L	は種時、 鉢上げ時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	育苗培土 混和
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	ミニトマト	アブラムシ類	モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他3回 (土壌混和1回、散布・くん煙・株元散布2回)	植穴土壌 混和
			アーリーセーフ	300倍	収穫前日	—	散布(150～ 500mL/㎡)
			ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	株元処理
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5g/株	生育期、但し収穫前日まで	3回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	株元散布
		コナジラミ類	アーリーセーフ	300倍	収穫前日	—	散布(150～ 500mL/㎡)
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベストガード粒剤	1～2g/株	育苗期	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	5g/培土L	は種時、鉢上げ時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	育苗培土 混和
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他3回 (土壌混和1回、散布・くん煙・株元散布2回)	植穴土壌 混和
			モスピラン粒剤	1g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布・くん煙・定植後の株元散布は合計3回)	株元散布
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	1回	株元散布
		トマトサビ ダニ	アーリーセーフ	300倍	収穫前日	—	散布(150～ 500mL/㎡)
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～ 300L/10a)
		ハダニ類	アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	—	散布(150～ 500mL/㎡)
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～ 300L/10a)
		トマトハモグリバエ	モスピラン粒剤	1g/株	定植時	1回/他3回 (土壌混和1回、散布・くん煙・株元散布2回)	植穴土壌 混和
		ハモグリバエ類	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クロ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		マメハモグリバエ	ベストガード粒剤	2g/株	定植時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処理・定植時土壌混和合計1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
		萎ちょう病	GFベンレート水和剤	1000倍	定植前～ 定植1カ月後	2回/他6回(種子1回、灌注2回、散布3回)	灌注(150～ 300mL/株)
		うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
			アーリーセーフ	300～600倍	収穫前日	—	散布(150～ 500mL/㎡)
			家庭園芸用カリグリーン	800～1000倍	収穫前日	—	散布(100～ 300mL/㎡)
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	2回/シフルフェ2回/トリフ5回	散布(100～ 300L/a)
		疫病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
		菌核病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	3回/他6回(種子1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		さび病	家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	—	散布(100～ 300mL/㎡)
		すすかび病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
		炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
		灰色かび病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他6回(種子1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
			家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	—	散布(100～ 300mL/㎡)
		葉かび病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/他6回(種子1回、灌注2回、散布3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
			家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	—	散布(100～ 300mL/㎡)
		斑点病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300L/10a)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	ミニトマト	モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	10倍	収穫前日	—	移植・各作業 (摘芽、誘引 等)直前散布 (100L/10a)
		輪紋病	STダコニール1000	1000倍	収穫7日前	2回	散布(100～ 300L/10a)
☆	みぶな	根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	30kg/10a	は種前	1回	全面土壌 混和
	みやこわすれ	茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		根腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
	みょうが(花穂)	ナスコナカイ ガラムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300mL/㎡)花 穂の発生期は マルチフィルム 被覆により散 布液が直接花 穂に飛散しな い状態で使用
		ハダニ類	兼商モレスタン水和剤	3000倍	収穫前日	3回	散布、花穂発 生期にはマル チフィルム被覆 し、散布液が花 穂に飛散しない 状態で使用
		いもち病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫3日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡) 花穂に飛散し ない状態
		葉枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	4回	散布(100～ 300L/10a)
		紋枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	4回	散布(100～ 300L/10a)
	みょうが(茎葉)	ナスコナカイ ガラムシ	ベニカ水溶剤	2000倍	みょうが(花穂) の収穫前日まで 但し、花穂を収穫 しない場合にあっ ては開花期終了 まで	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハダニ類	兼商モレスタン水和剤	3000倍	みょうが(花穂)の 収穫前日まで、花穂 を収穫しない場合 は開花期終了まで	3回	散布
		いもち病	GFベンレート水和剤	2000倍	花穂収穫3日前又 は開花期終了まで	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		葉枯病	STダコニール1000	1000倍	みょうが(花穂)収穫 14日前まで、但し花 穂を収穫しない場合 は開花期終了まで	4回	散布(100～ 300L/10a)
		紋枯病	STダコニール1000	1000倍	みょうが(花穂)収穫 14日前まで、但し花 穂を収穫しない場合 は開花期終了まで	4回	散布(100～ 300L/10a)
	麦類	うどんこ病	家庭園芸用カリグリーン	500倍	収穫前日	—	散布(60～ 150mL/㎡)
			パンチョTF 顆粒水和剤	2000倍	収穫14日前	2回/シフルフェ2回/トリフ3回 (種子粉衣1回)	散布(60～ 150L/10a)
		雪腐病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	根雪前	1回	散布(60～ 150L/10a)
☆	メキャベツ	根こぶ病	石原フロンサイド粉剤	30～40kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌 混和
	メロン	アザミウマ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ミナミキイロ アザミウマ	ベストガード粒剤	2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和 は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌 混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
☆	メロン	アブラムシ類	ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和1回、散布3回)	株元処理
			ベニカR乳剤	100～200倍	収穫前日	4回以内	散布(100～300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	4000倍	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
			家庭園芸用スミチオン乳剤	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～300mL/㎡)
		ケラ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		コガネムシ類(幼虫)	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		コナジラミ類	ベストガード粒剤	1g/株	育苗期	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和1回、散布3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回/他4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和1回、散布3回)	植穴処理 土壌混和
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
		タネバエ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		ハダニ類	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/㎡)
			ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布(100～300L/10a)
			バロックフロアブル	2000倍	収穫前日	2回	散布(100～350L/10a)
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	収穫前日	4回以内	散布(100～300mL/㎡)
		ウリハムシ	家庭園芸用マラソン乳剤	1000倍	収穫前日	3回	散布(100～300mL/㎡)
		ウリハムシ幼虫	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他4回(粒剤生育処理3回)	土壌混和
		トマトハモグリバエ	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫前日	3回/クワ4回(育苗期株元処理・定植時土壌混和は合計1回、散布・定植後株元散布は合計3回)	散布(100～300mL/㎡)
		うどんこ病	STサブロール乳剤	2000倍	収穫前日	6回	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	700倍	収穫3日前	5回	散布(100～300L/10a)
			兼商モレスタン水和剤	2000～4000倍	収穫3日前	10回	散布
			菌核病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回/4回(種子粉衣1回、は種後3回)
		炭そ病	サンケイ オーソサイド水和剤80	400～800倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
		つる枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫3日前	5回	散布(100～300L/10a)
			トップジンMペースト	原液	発病初期 (収穫21日前)	1回/他5回 (種子処理1回、塗布1回、散布3回)	塗布
			苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	種子重量の 0.2～0.4%	は種前	1回/他5回(種子粉衣1回)
☆			サンケイ オーソサイド水和剤80	800倍	は種後2～3葉期	5回/他5回(種子粉衣1回)	全面散布 (2L/㎡)
		べと病	STダコニール1000	700～1000倍	収穫3日前	5回	散布(100～300L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	収穫14日前	5回/他5回(種子粉衣1回)	散布(100～300mL/㎡)
		モザイク病 感染防止	家庭園芸用 レンテミン液剤	10倍	収穫前日	—	移植・各作業 (摘芽、誘引等)直前散布 (100L/10a)
			家庭園芸用 レンテミン液剤	原液	管理作業時	—	手指、器具を 薬液に浸漬し、濡れた状態 で使用
		もも	アブラムシ類	ベニカベジフルスプレー	原液	収穫7日前	3回
	家庭園芸用マラソン乳剤			2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～700mL/㎡)
☆	ベニカR乳剤			100～200倍	前日まで	5回以内	散布(200～700mL/㎡)
	ベニカ水溶剤			2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～700mL/㎡)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	もも	アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回/他6回(樹幹処理は1回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		カイガラムシ 類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～ 700mL/㎡)
		クワシロカイ ガラムシ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回/他6回(樹幹処理は1回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回/他6回(樹幹処理は1回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		コガネムシ類 (成虫)	ベニカ水溶剤	2000倍	収穫7日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫7日前	3回	散布
		シンクイムシ 類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
☆			ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	5回以内	散布(200～ 700mL/㎡)
			ベニカS乳剤	200～300倍	収穫7日前	6回	散布(200～ 700mL/㎡)
		ハダニ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫7日前	5回	散布(200～ 700mL/㎡)
			ダニ太郎	1000～1500倍	収穫前日	1回	散布
			バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	2回	散布(200～ 700L/10a)
		モモサビダニ	ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布
			バロックフロアブル	2000倍	収穫7日前	2回	散布(200～ 700L/10a)
		ハマキムシ 類	ベニカS乳剤	300倍	収穫7日前	6回	散布(200～ 700mL/㎡)
☆		モモハモグリ ガ	ベニカR乳剤	100～200倍	前日まで	5回以内	散布(200～ 700mL/㎡)
			ベニカS乳剤	200～400倍	収穫7日前	6回	散布(200～ 700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫7日前	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回/他6回(樹幹処理は1回)	散布(200～ 700mL/㎡)
		モモシンクイ ガ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫3日前	6回/他6回(樹幹処理は1回)	散布(200～ 700mL/㎡)
☆		うどんこ病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
		黒星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	6回	散布(200～ 700L/10a)
		縮葉病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	発芽前	4回	散布(200～ 700mL/㎡)
		せん孔細菌 病	ヤシマストマイ液剤20	1000～2000倍	収穫60日前	2回	散布
		灰星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
			STサプロール乳剤	800～1000	収穫前日	5回	散布(200～ 700mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫前日	6回	散布(200～ 700L/10a)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	700倍	収穫前日	6回/他10回 [塗布3回、(休眠期1回、生育期6回)]	散布(200～ 700L/10a)
		ホモプシス 腐敗病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	3回	散布(200～ 700mL/㎡)
		切り口及び傷 口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病 患部削り取り直 後、及び病枝切 除後	3回/他10回 (塗布3回、休眠期散布1回、生育期散布6回)	塗布
☆	もりあざみ	ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期 但し収 穫7日前まで	3回以内	株元散布
		ステムフィリ ウム葉枯症	STダコニール1000	1000倍	収穫30日前	3回	散布(100～ 300L/10a)
	モロヘイヤ	アザミウマ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	2回	散布(100～ 300mL/㎡)
		アブラムシ類	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前	2回	散布(100～ 300mL/㎡)
	やなぎ	ハダニ類	兼商モレスタン水和剤	1000倍	—	—	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	やなぎ	うどんこ病	兼商モレスタン水和剤	2000倍	—	—	散布
☆	やまのいも	ヤマノイモコガ	ベニカS乳剤	200～300倍	収穫7日前	5回	散布(100～300mL/㎡)
		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		ハダニ類	ダニ太郎	1000倍	収穫3日前	1回	散布(100～300L/10a)
		炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫30日前	6回	散布(100～300L/10a)
		つる枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫30日前	6回	散布(100～300L/10a)
		葉渋病	STダコニール1000	1000倍	収穫30日前	6回	散布(100～300L/10a)
	やまのいも(むかご)	炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	6回	散布(100～300L/10a)
		つる枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	6回	散布(100～300L/10a)
		葉渋病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	6回	散布(100～300L/10a)
	ゆうがお	うどんこ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～300L/10a)
		炭そ病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫前日	5回	散布(100～300L/10a)
	ゆきやなぎ	苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	1000倍	—	8回	散布(200～700mL/㎡)
☆	ゆり	アブラムシ類	モスピラン液剤	500倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
		茎腐症(リゾプス菌による)	石原フロンサイド粉剤	40kg/10a	定植前	1回/他3回	全面土壌混和
		葉枯病	STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～300L/10a)
			家庭園芸用 トップジンMゾル	1000倍	発病初期	5回	散布(100～300L/10a)
	らっかせい	褐斑病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫7日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/㎡)
			STダコニール1000	500倍	収穫14日前	4回	散布(100～300L/10a)
		黒渋病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫7日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/㎡)
☆		白絹病	石原フロンサイド粉剤	20kg/10a	収穫45日前まで	1回	株元散布
		そうか病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫7日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～300mL/㎡)
	らっきょう	乾腐病	GFベンレート水和剤	500倍	植付直前	1回	浸漬(30分)
		灰色かび病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回	散布(100～300L/10a)
	リアトリス	ハマキムシ類	家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	発生初期	5回	散布(100～300mL/㎡)
	リーフレタス	ヨトウムシ	ベニカS乳剤	200～300倍	収穫14日前	2回	散布(100～300mL/㎡)
		すそ枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫21日前	2回	散布(100～300L/10a)
	りんご	アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	5回/他5回(休眠期から芽出直後1回)	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	収穫30日前	3回	散布(200～700mL/㎡)
		コナカイガラムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)
		カメムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)
		ケムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫前日	3回	散布
		シンクイムシ類	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)

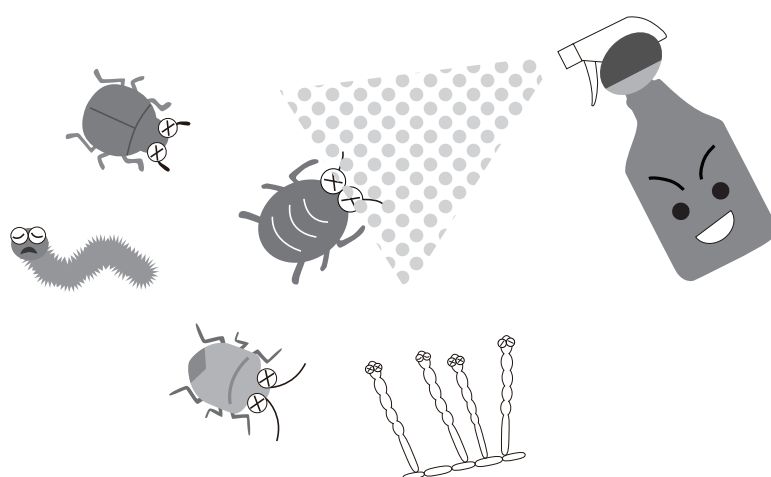
	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	りんご	ナミハダニ	ダニ太郎	1000～1500倍	収穫前日	1回	散布
			バロックフロアブル	2000倍	収穫14日前	2回	散布(200～700L/10a)
		ハダニ類	アーリーセーフ	600倍	収穫前日	—	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用カリグリーン	800倍	収穫前日	—	散布(200～700mL/㎡)
			家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	5回/他5回(休眠期から芽出直後1回)	散布(200～700mL/㎡)
		リンゴハダニ	ダニ太郎	1000倍	収穫前日	1回	散布
			バロックフロアブル	2000～3000倍	収穫14日前	2回	散布(200～700L/10a)
		ギンモンハモグリガ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)
		キンモンホソガ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)
		リンゴワタムシ	家庭園芸用マラソン乳剤	2000倍	収穫14日前	5回/他5回(休眠期から芽出直後1回)	散布(200～700mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	3回	散布(200～700mL/㎡)
		うどんこ病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			パンチョTF顆粒水和剤	2000倍	収穫7日前	2回/シフルフェ2回/トリフ3回	散布(200～700L/a)
		褐斑病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイオーソサイド水和剤80	600～800倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		黒星病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(200～700L/10a)
			サンケイオーソサイド水和剤80	600～1000倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		黒点病	サンケイエムダイファア水和剤	400～650倍	収穫60日前	2回	散布
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイオーソサイド水和剤80	800～1200倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		すす点病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイオーソサイド水和剤80	600～800倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		すす斑病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイオーソサイド水和剤80	600～800倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		炭そ病	サンケイオーソサイド水和剤80	800倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		腐らん病	トップジンMペースト	原液	剪定時、病患部削り取り直後	3回/他10回 (塗布3回、灌注1回、散布6回)	塗布
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
		モニリア病	GFベンレート水和剤	2000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(200～700L/10a)
		切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回/他10回 (塗布3回、灌注1回、散布6回)	塗布
		斑点落葉病	STダコニール1000	1000倍	収穫45日前	3回	散布(200～700L/10a)
			サンケイオーソサイド水和剤80	600～800倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
		輪紋病	トップジンMペースト	原液	剪定時、病患部削り取り直後	3回/他10回 (塗布3回、灌注1回、散布6回)	塗布
			GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日	4回	散布(200～700mL/㎡)
			サンケイオーソサイド水和剤80	600～800倍	収穫14日前	6回	散布(200～700mL/㎡)
	りんご(苗木)	白紋羽病	GFベンレート水和剤	1000倍	植付直前	—	浸漬 (10～30分)

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	りんどう	ヒラズハナ アザミウマ	家庭園芸用 スミチオン乳剤	1000倍	発生初期	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
		ハダニ類	ダニ太郎	1000倍	開花前	1回	散布(100～ 300L/10a)
		褐斑病	STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～ 300L/10a)
		茎腐病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		苗立枯病	サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		葉枯病	STダコニール1000	1000倍	—	6回	散布(100～ 300L/10a)
			サンケイ オーソサイド水和剤80	600倍	—	8回	散布(100～ 300mL/㎡)
		花腐菌核病	GFベンレート水和剤	3000倍	—	6回	散布(100～ 300mL/㎡)
	レタス	アブラムシ類	家庭園芸用 マラソン乳剤	2000倍	収穫3日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前	2回/クロ3回 (育苗期株元処理1回、散布2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.25～0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回(株元散布1回、散布3回)	株元散布
☆			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫30日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
☆		カタツムリ類	ナメナイト	1～3kg/10a	収穫14日前まで	2回/他6回 (散布、株元散布は合計3回(株元散布は2回))	株元散布
		ケラ	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	は種時、 植付時	2回	土壌混和
		コガネムシ類 (幼虫)	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	植付前	2回	土壌混和
		オオタバコガ	モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回(株元散布1回、散布3回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000倍	収穫30日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
☆		ナメクジ類	ナメナイト	1～3kg/10a	収穫14日前まで	2回/他6回 (散布、株元散布は合計3回(株元散布は2回))	株元散布
		ネキリムシ類	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン粒剤3	6～9g/㎡	は種時、 植付時	2回	土壌混和
☆			ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	5回以内	株元散布
		ナモグリバエ	ベストガード粒剤	0.5～1g/株	育苗期後半	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理合計1回、散布3回)	株元処理
			ベストガード粒剤	10g/培土L	は種時	1回/他4回(育苗培土混和・育苗期株元処 理合計1回、散布3回)	育苗培土 混和
			ベニカ水溶剤	2000倍	収穫3日前	2回/クロ3回 (育苗期株元処理1回、散布2回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回(株元散布1回、散布3回)	株元散布
		ヨトウムシ	ベニカS乳剤	200～300倍	収穫7日前	5回	散布(100～ 300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回/他4回(株元散布1回、散布3回)	株元散布
			家庭園芸用 GFオルトラン水和剤	1000～1500倍	収穫30日前	3回	散布(100～ 300mL/㎡)
		菌核病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫14日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		すそ枯病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫14日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～ 300mL/㎡)
			STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回/他5回(灌注2回、散布3回)	散布(100～ 300L/10a)
☆			石原フロンサイド粉剤	30kg/10a	は種又は定植前	1回/2回(土壌混和1回、土壌散布1回)	全面土壌 混和
		灰色かび病	GFベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫14日前	4回/他5回(種子粉衣1回、は種後4回)	散布(100～ 300mL/㎡)
		ビッグベイン 病	STダコニール1000	1000倍	収穫42日前	2回/他5回(灌注2回、散布3回)	灌注(1.5～ 3L/㎡)
☆			石原フロンサイド粉剤	30kg/10a	は種又は定植前	1回/2回(土壌混和1回、土壌散布1回)	全面土壌 混和
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	3回/他5回(灌注2回、散布3回)	散布(100～ 300L/10a)
☆	わけぎ	ネギアザミウ マ	ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布(100～ 300mL/㎡)
☆			ベニカベジフルスプレー	原液	収穫3日前まで	4回以内(株元散布2回)	散布

	作物名	病害虫名	薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
	わけぎ	ネギアザミウマ	モスピラン粒剤	6g/㎡	植付時	1回/他4回 (土壌混和は合計1回、散布は3回)	植溝土壌混和
			モスピラン粒剤	6g/㎡	は種時	1回/他4回 (土壌混和は合計1回、散布は3回)	播溝土壌混和
		コガネムシ類(幼虫)	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
		タネバエ	家庭園芸用サンケイダイアジノン粒剤3	6～8g/㎡	植付時	1回/他2回	土壌混和
☆		ネキリムシ類	ネキリバイト	3g/㎡	生育初期	3回以内	株元散布
		ネギハモグリバエ	ベストガード粒剤	6kg/10a	定植時	1回	植溝処理 土壌混和
☆			ベニカ水溶剤	2000～4000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布(100～300mL/㎡)
			モスピラン粒剤	6g/㎡	植付時	1回/他4回 (土壌混和は合計1回、散布は3回)	植溝土壌混和
			モスピラン粒剤	6g/㎡	は種時	1回/他4回 (土壌混和は合計1回、散布は3回)	播溝土壌混和
		萎ちょう病	GFベンレート水和剤	500倍	植付前	1回	浸漬(30分)
		黒斑病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	2回/他3回(灌注1回、散布2回)	散布(100～300L/10a)
		さび病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	2回/他3回(灌注1回、散布2回)	散布(100～300L/10a)
		小菌核腐敗病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	2回/他3回(灌注1回、散布2回)	散布(100～300L/10a)
		苗立枯病(リゾクトニア菌)	STダコニール1000	500倍	出芽揃い後(出芽3日後～10日後まで)	1回/他3回(灌注1回、散布2回)	灌注 (0.5L/㎡)
		葉枯病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	2回/他3回(灌注1回、散布2回)	散布(100～300L/10a)
		べと病	STダコニール1000	1000倍	収穫14日前	2回/他3回(灌注1回、散布2回)	散布(100～300L/10a)



あしたを育てる。



 住友化学園芸株式会社

www.sc-engel.co.jp



〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1-8

●商品についてのお問い合わせ先
TEL:03-3663-1128(イニワ)
(9:30~12:00/13:00~16:30/土、日、祝日を除く)

この印刷物の記載内容は2015年12月1日現在の内容です。